



(様式第 10)

伊総第 19-210 号
令和元年 10 月 2 日

厚生労働大臣 加藤 勝信 殿

学校法人 東海大学
理事長 松前 謙

東海大学医学部付属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 第 1 項及び医療法施行規則（昭和 23 年厚生省令第 50 号）第 9 条の 2 の 2 の第 1 項の規定に基づき、平成 30 年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒151-8677 東京都渋谷区富ヶ谷2-28-4
氏 名	学校法人 東海大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

東海大学医学部付属病院

3 所在の場所

〒259-1193 神奈川県伊勢原市下糟屋143	電話 (0463) 93-1121 (代)
-----------------------------	-------------------------

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

①医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	(有) ・ 無		
内科と組み合わせた診療科名等			
①呼吸器内科	②消化器内科	③循環器内科	4腎臓内科
⑤神経内科	6血液内科	7内分泌内科	8代謝内科
9感染症内科	10アレルギー疾患内科またはアレルギー科	⑩リウマチ科	
診療実績			

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

外科	有	・	無
外科と組み合わせた診療科名			
①呼吸器外科	②消化器外科	3乳腺外科	4心臓外科
5血管外科	⑥心臓血管外科	7内分泌外科	⑧小児外科
診療実績			

- (注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。
 2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること（「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと）。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

①精神科	②小児科	③整形外科	④脳神経外科	⑤皮膚科	⑥泌尿器科	7産婦人科
⑧産科	⑨婦人科	⑩眼科	⑪耳鼻咽喉科	12放射線科	⑬放射線診断科	
⑭放射線治療科	⑮麻酔科	16救急科				

- (注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	有	・	無
歯科と組み合わせた診療科名			
1小児歯科	2矯正歯科	3口腔外科	
歯科の診療体制			

- (注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。
 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1 移植外科	2 形成外科	3 リハビリテーション科	4 緩和ケア内科	5 病理診断科
6 臨床検査科	7 腎内分泌代謝内科	8 血液腫瘍内科	9 乳腺内分泌外科	10 救命救急科
11 歯科口腔外科	12	13	14	15 16
17	18	19	20	21

- (注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
床	床	床	床	804床	804床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	510 人	153 人	541.5人	看 護 補 助 者	155 人	診療エックス線技師	0 人
歯 科 医 師	18 人	10 人	19 人	理 学 療 法 士	25 人	臨床検査技師	145 人
薬 剤 師	73 人	1 人	73.7人	作 業 療 法 士	10 人	衛生検査技師	0 人
保 健 師	0 人	0 人	0 人	視 能 訓 練 士	9 人	そ の 他	0 人
助 産 師	22 人	1 人	22.8人	義 肢 装 具 士	0 人	あん摩マッサージ指圧師	0 人
看 護 師	1006 人	61 人	1050.1人	臨 床 工 学 士	33 人	医療社会事業従事者	14 人
准 看 護 師	0 人	0 人	0 人	栄 養 士	0 人	その他の技術員	14 人
歯 科 衛 生 士	8 人	0 人	8 人	歯 科 技 工 士	1 人	事 務 職 員	181 人
管理栄養士	14 人	1 人	14.8人	診 療 放 射 線 技 師	71 人	そ の 他 の 職 員	0 人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	59人	眼 科 専 門 医	5 人
外 科 専 門 医	38 人	耳 鼻 咽 喉 科 専 門 医	12 人
精 神 科 専 門 医	8 人	放 射 線 科 専 門 医	3 人
小 児 科 専 門 医	12 人	脳 神 経 外 科 専 門 医	13 人
皮 膚 科 専 門 医	3 人	整 形 外 科 専 門 医	16 人
泌 尿 器 科 専 門 医	8 人	麻 酔 科 専 門 医	16 人
産 婦 人 科 専 門 医	20 人	救 急 科 専 門 医	10 人
		合 計	223 人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 (渡辺 雅彦) 任命年月日 平成 31 年 4 月 1 日

2016 年度 IC 記載状況確認分科会座長・IC 管理責任者
 2017 年度 IC 記載状況確認分科会座長・IC 管理責任者
 2017 年度高難度新規医療技術評価委員会委員長、未承認新規医薬品等評価委員会委員長
 2017 年度東海大学医学部附属病院医療安全に係る事象の病院長報告構成員
 2018 年度 IC 記載状況確認分科会座長・IC 管理責任者
 2018 年度高難度新規医療技術評価委員会委員長、未承認新規医薬品等評価委員会委員長
 2018 年度東海大学医学部附属病院医療安全に係る事象の病院長報告構成員

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	751.7人	13.7人	765.4人
1日当たり平均外来患者数	2368.0人	114.3人	2482.0人
1日当たり平均調剤数	1913.1		剤
必要医師数			212人
必要歯科医師数			2人
必要薬剤師数			26人
必要(准)看護師数			466人

(注)1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。

2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。

3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。

4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
集中治療室	710.74 m ²	鉄筋コンクリート (免震)	病床数	32床	心電計	有・無
			人工呼吸装置	有・無	心細動除去装置	有・無
			その他の救急蘇生装置	有・無	ペースメーカー	有・無
無菌病室等	[固定式の場合] 床面積 159.36 m ² [移動式の場合] 台数 台		病床数	13床		
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床積 82.8 m ² [共用室の場合] 共用する室名					
化学検査室	375.52 m ²	鉄筋コンクリート (免震)	(主な設備) 臨床化学自動分析装置			
細菌検査室	241.99 m ²	鉄骨鉄筋コンクリート造	(主な設備) 微生物感受性分析装置			
病理検査室	284.68 m ²	鉄筋コンクリート (免震)	(主な設備) プッシュプル換気装置付流し台・切出台、自動染色装置、自動包埋装置等			
病理解剖室	84.68 m ²	鉄骨鉄筋コンクリート造	(主な設備) 解剖台、ホルマリン対応型切出台、プッシュプル換気装置付流し台			
研究室	11,149.23 m ²	鉄骨鉄筋コンクリート造	(主な設備)			
講義室	1,256.16 m ²	鉄骨鉄筋コンクリート造	室数	8室	収容定員	810人
図書室	2,099.45 m ²	鉄骨鉄筋コンクリート造	室数	1室	蔵書数	173,500冊程度

(注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。

2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率	83.9%	逆紹介率	60.1%
算出根拠	A: 紹介患者の数		23,124人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		20,572人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		5,608人
	D: 初診の患者の数		34,242人

(注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由(注)

令和元年10月1日付

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
三木 保	東京医科大学 病院長 東京医科大学 医療の質・安全管理学分野主任教授	○	特定機能病院の 管理者 特定機能病院医療安全管理責任者(経験者)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者 その他の学識経験を有する者
大塚 達生	弁護士 (神奈川県弁護士会)		患者さん側の立場に立った弁護をされている者	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者 その他の学識経験を有する者
山口 育子	認定NPO法人 ささえあい医療人権センター COML 理事長		患者と医療者の協働の実現により医療現場により良いコミュニケーションを築く活動をされている者	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	医療を受ける者 その他の医療従事者以外の者
黒石 正幸	伊勢原市保健福祉部長		行政としての立場及び一般の立場の代表者	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	医療を受ける者 その他の医療従事者以外の者
安田 聖栄	医療法人社団 あんしん会四谷メディカルキューブ理事長(元東海大学医学部教授, 前東海大学医学部付属病院副院長)		前東海大学医学部 付属病院の医療安全統括者	<input checked="" type="radio"/> 有・無	医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者 その他の学識経験を有する者
千野 修	東海大学医学部 付属東京病院副院長・医療安全対策室長		付属病院群の医療安全に係る責任者の代表者	<input checked="" type="radio"/> 有・無	医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者 その他の学識経験を有する者

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者(1.に掲げる者を除く。)
3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	<input checked="" type="radio"/> 有・無
委員の選定理由の公表の有無	<input checked="" type="radio"/> 有・無
公表の方法 当院ホームページに委員名簿、委員の選定理由を掲載 議事録は監査委員会終了後に掲載	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
パクリタキセル静脈内投与(一週間に一回投与するものに限る。)及びカルボプラチン腹腔内投与(三週間に一回投与するものに限る。)の併用療法(上皮性卵巣がん、卵管がん、又は原発性腹膜がん)	0人
アルテプラゼ静脈内投与による血栓溶解療法 急性脳梗塞(当該疾病の病状の発症時刻が明らかでない場合に限る。)	0人
腹腔鏡下センチネルリンパ節生検	0人
術後のカペシタビン内服投与及びオキサリプラチン静脈内投与の併用療法	0人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	1	56	ベーチェット病	94
2	筋萎縮性側索硬化症	26	57	特発性拡張型心筋症	35
3	脊髄性筋萎縮症	1	58	肥大型心筋症	31
4	原発性側索硬化症	0	59	拘束型心筋症	1
5	進行性核上性麻痺	5	60	再生不良性貧血	75
6	パーキンソン病	342	61	自己免疫性溶血性貧血	67
7	大脳皮質基底核変性症	9	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	23
8	ハンチントン病	1	63	特発性血小板減少性紫斑病	168
9	神経有棘赤血球症	0	64	血栓性血小板減少性紫斑病	6
10	シャルコー・マリー・トゥース病	0	65	原発性免疫不全症候群	263
11	重症筋無力症	201	66	IgA腎症	111
12	先天性筋無力症候群	0	67	多発性嚢胞腎	40
13	多発性硬化症/視神経脊髄炎	152	68	黄色靱帯骨化症	14
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎/多巣性運動ニューロパチー	20	69	後縦靱帯骨化症	75
15	封入体筋炎	3	70	広範脊柱管狭窄症	5
16	クロー・深瀬症候群	0	71	特発性大腿骨頭壊死症	69
17	多系統萎縮症	29	72	下垂体性ADH分泌異常症	42
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	91	73	下垂体性TSH分泌亢進症	1
19	ライソゾーム病	9	74	下垂体性PRL分泌亢進症	63
20	副腎白質ジストロフィー	6	75	クッシング病	60
21	ミトコンドリア病	12	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	3
22	もやもや病	73	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	30
23	プリオン病	3	78	下垂体前葉機能低下症	207
24	亜急性硬化性全脳炎	0	79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0
25	進行性多巣性白質脳症	0	80	甲状腺ホルモン不応症	0
26	HTLV-1関連脊髄症	8	81	先天性副腎皮質酵素欠損症	9
27	特発性基底核石灰化症	0	82	先天性副腎低形成症	0
28	全身性アミロイドーシス	11	83	アジソン病	12
29	ウルリッヒ病	0	84	サルコイドーシス	95
30	遠位型ミオパチー	0	85	特発性間質性肺炎	207
31	ベスレムミオパチー	0	86	肺動脈性肺高血圧症	103
32	自己貪食空胞性ミオパチー	0	87	肺静脈閉塞症/肺毛細血管腫症	1
33	シュワルツ・ヤンペル症候群	0	88	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	22
34	神経線維腫症	20	89	リンパ脈管筋腫症	6
35	天疱瘡	26	90	網膜色素変性症	31
36	表皮水疱症	0	91	バッド・キアリ症候群	3
37	膿疱性乾癬(汎発型)	1	92	特発性門脈圧亢進症	4
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	9	93	原発性胆汁性肝硬変	236
39	中毒性表皮壊死症	4	94	原発性硬化性胆管炎	9
40	高安動脈炎	42	95	自己免疫性肝炎	119
41	巨細胞性動脈炎	27	96	クローン病	143
42	結節性多発動脈炎	42	97	潰瘍性大腸炎	359
43	顕微鏡的多発血管炎	57	98	好酸球性消化管疾患	4
44	多発血管炎性肉芽腫症	163	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	0
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	34	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0
46	悪性関節リウマチ	28	101	腸管神経節細胞減少症	0
47	バージャー病	89	102	ルビンシュタイン・テイビ症候群	0
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	14	103	CFC症候群	0
49	全身性エリテマトーデス	1318	104	コステロ症候群	0
50	皮膚筋炎/多発性筋炎	374	105	チャージ症候群	0
51	全身性強皮症	260	106	クリオピリン関連周期熱症候群	0
52	混合性結合組織病	345	107	全身型若年性特発性関節炎	0
53	シェーグレン症候群	712	108	TNF受容体関連周期性症候群	0
54	成人スチル病	24	109	非典型型溶血性尿毒症症候群	0
55	再発性多発軟骨炎	8	110	ブラウ症候群	0

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
111	先天性ミオパチー	0	161	家族性良性慢性天疱瘡	1
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	0	162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	15
113	筋ジストロフィー	7	163	特発性後天性全身性無汗症	0
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0	164	眼皮膚白皮症	0
115	遺伝性周期性四肢麻痺	1	165	肥厚性皮膚骨膜炎	0
116	アトピー性脊髄炎	0	166	弾性線維性仮性黄色腫	0
117	脊髄空洞症	1	167	マルファン症候群	2
118	脊髄髄膜瘤	1	168	エーラス・ダンロス症候群	1
119	アイザックス症候群	2	169	メンケス病	0
120	遺伝性ジストニア	0	170	オクシピタル・ホーン症候群	0
121	神経フェリチン症	0	171	ウィルソン病	5
122	脳表ヘモジデリン沈着症	1	172	低ホスファターゼ症	0
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	0	173	VATER症候群	0
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	0	174	那須・ハコラ病	0
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	0	175	ウィーバー症候群	0
126	ペリー症候群	0	176	コフィン・ローリー症候群	0
127	前頭側頭葉変性症	0	177	有馬症候群	0
128	ピッカースタッフ脳幹脳炎	0	178	モワット・ウィルソン症候群	0
129	痙攣重積型(二相性)急性脳症	0	179	ウィリアムズ症候群	0
130	先天性無痛無汗症	0	180	ATR-X症候群	0
131	アレキサンダー病	0	181	クルーゾン症候群	0
132	先天性核上性球麻痺	0	182	アペール症候群	0
133	メビウス症候群	0	183	ファイファー症候群	0
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0	184	アントレー・ビクスラー症候群	0
135	アイカルディ症候群	0	185	コフィン・シリス症候群	0
136	片側巨脳症	0	186	ロスムンド・トムソン症候群	0
137	限局性皮質異形成	0	187	歌舞伎症候群	0
138	神経細胞移動異常症	0	188	多脾症候群	0
139	先天性大脳白質形成不全症	0	189	無脾症候群	0
140	ドラベ症候群	0	190	鯉耳腎症候群	0
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	0	191	ウェルナー症候群	1
142	ミオクロニー欠神てんかん	0	192	コケイン症候群	0
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	0	193	プラダー・ウィリ症候群	0
144	レノックス・ガストー症候群	0	194	ソトス症候群	0
145	ウエスト症候群	0	195	ヌーナン症候群	0
146	大田原症候群	0	196	ヤング・シンブソン症候群	0
147	早期ミオクロニー脳症	0	197	1p36欠失症候群	0
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	198	4p欠失症候群	0
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	199	5p欠失症候群	0
150	環状20番染色体症候群	0	200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0
151	ラスムッセン脳炎	0	201	アンジェルマン症候群	0
152	PCDH19関連症候群	0	202	スミス・マジニス症候群	0
153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	0	203	22q11.2欠失症候群	0
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	0	204	エマヌエル症候群	0
155	ランドウ・クレフナー症候群	0	205	脆弱X症候群関連疾患	0
156	レット症候群	0	206	脆弱X症候群	0
157	スタージ・ウェーバー症候群	0	207	総動脈幹遺残症	0
158	結節性硬化症	4	208	修正大血管転位症	0
159	色素性乾皮症	1	209	完全大血管転位症	0
160	先天性魚鱗癬	6	210	単心室症	1

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
211	左心低形成症候群	0	259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0
212	三尖弁閉鎖症	0	260	シトステロール血症	0
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	0	261	タンジール病	0
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	0	262	原発性高カイロミクロン血症	0
215	ファロー四徴症	0	263	脳髄黄色腫症	0
216	両大血管右室起始症	0	264	無βリポタンパク血症	0
217	エプスタイン病	0	265	脂肪萎縮症	0
218	アルポート症候群	0	266	家族性地中海熱	7
219	ギャロウェイ・モフト症候群	0	267	高IgD症候群	0
220	急速進行性糸球体腎炎	337	268	中條・西村症候群	0
221	抗糸球体基底膜腎炎	14	269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	0
222	一次性ネフローゼ症候群	337	270	慢性再発性多発性骨髄炎	2
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	3	271	強直性脊椎炎	6
224	紫斑病性腎炎	4	272	進行性骨化性線維異形成症	0
225	先天性腎性尿崩症	0	273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	2
226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	0	274	骨形成不全症	2
227	オスラー病	3	275	タナトフォリック骨異形成症	0
228	閉塞性細気管支炎	2	276	軟骨無形成症	0
229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	4	277	リンパ管腫症/ゴーハム病	0
230	肺胞低換気症候群	10	278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	0
231	α1-アンチトリプシン欠乏症	0	279	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	0
232	カーニー複合	0	280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	1
233	ウォルフラム症候群	0	281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	5
234	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	0	282	先天性赤血球形成異常性貧血	0
235	副甲状腺機能低下症	4	283	後天性赤芽球癆	7
236	偽性副甲状腺機能低下症	0	284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	0
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0	285	ファンconi貧血	12
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	2	286	遺伝性鉄芽球性貧血	0
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0	287	エプスタイン症候群	0
240	フェニルケトン尿症	0	288	自己免疫性出血病XIII	0
241	高チロシン血症1型	0	289	クローンカイト・カナダ症候群	2
242	高チロシン血症2型	0	290	非特異性多発性小腸潰瘍症	0
243	高チロシン血症3型	0	291	ヒルシュスプルング病(全結腸型又は小腸)	0
244	メープルシロップ尿症	0	292	総排泄腔外反症	0
245	プロピオン酸血症	0	293	総排泄腔遺残	0
246	メチルマロン酸血症	0	294	先天性横隔膜ヘルニア	0
247	イソ吉草酸血症	0	295	乳幼児肝巨大血管腫	0
248	グルコーストランスポーター1欠損症	0	296	胆道閉鎖症	0
249	グルタル酸血症1型	0	297	アラジール症候群	0
250	グルタル酸血症2型	0	298	遺伝性膀胱炎	0
251	尿素サイクル異常症	0	299	嚢胞性線維症	0
252	リジン尿性蛋白不耐症	0	300	IgG4関連疾患	24
253	先天性葉酸吸収不全	0	301	黄斑ジストロフィー	0
254	ポルフィリン症	1	302	レーベル遺伝性視神経症	0
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	0	303	アッシュヤー症候群	0
256	筋型糖原病	0	304	若年発症型両側性感音難聴	109
257	肝型糖原病	0	305	遅発性内リンパ水腫	0
258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0	306	好酸球性副鼻腔炎	5

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
307	カナバン病	0	319	セピアブテリン還元酵素(SR)欠損症	0
308	進行性白質脳症	0	320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール(GPI)欠損症	0
309	進行性ミオクローヌステんかん	0	321	非ケトーシス型高グリシン血症	0
310	先天異常症候群	0	322	β -ケトチオラーゼ欠損症	0
311	先天性三尖弁狭窄症	0	323	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	0
312	先天性僧帽弁狭窄症	0	324	メチルグルタコン酸尿症	0
313	先天性肺静脈狭窄症	0	325	遺伝性自己炎症疾患	0
314	左肺動脈右肺動脈起始症	0	326	大理石骨病	0
315	ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)/L MX1B関連腎症	0	327	特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	0
316	カルニチン回路異常症	0	328	前眼部形成異常	0
317	三頭酵素欠損症	0	329	無虹彩症	0
318	シトリン欠損症	0	330	先天性気管狭窄症	0
			331	特発性多中心性キャッスルマン病	0

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・特定機能病院入院基本料(一般7対1)	・総合周産期特定集中治療室管理料(母胎・胎児、新生児)
・超急性期脳卒中加算	・新生児治療回復室入院医療管理料
・診療録管理体制加算1	・小児入院医療管理料2・4
・医師事務作業補助体制加算[(イ)15対1]	・地域歯科診療支援病院歯科初診料
・急性期看護補助体制加算(25対1)	・歯科外来診療環境体制加算2
・看護職員夜間配置加算(12対1)	・歯科診療特別対応連携加算
・療養環境加算	・地域歯科診療支援病院入院加算
・無菌治療室管理加算1・2	・
・緩和ケア診療加算	・
・栄養サポートチーム加算	・
・医療安全対策加算1	・
・感染防止対策加算1	・
・感染防止対策地域連携加算	・
・抗菌薬適正使用加算	・
・患者サポート体制充実加算	・
・褥瘡ハイリスク患者ケア加算	・
・ハイリスク妊娠管理加算	・
・ハイリスク分娩管理加算	・
・呼吸ケアチーム加算	・
・後発医薬品使用体制加算2	・
・病棟薬剤業務実施加算1・2	・
・データ提出加算2	・
・入退院支援加算1	・
・認知症ケア加算1	・
・救命救急入院料3・4	・
・特定集中治療室管理料4(小児加算)	・

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・糖尿病合併症管理料	・胎児心エコー法
・がん性疼痛緩和指導管理料	・ヘッドアップティルト試験
・がん患者指導管理料イ・ロ	・皮下連続式グルコース測定
・外来緩和ケア管理料	・脳波検査判断料1
・移植後患者指導管理料(臓器・造血幹細胞)	・神経学的検査
・糖尿病透析予防指導管理料	・補聴器適合検査
・乳腺炎重症化予防ケア・指導料	・小児食物アレルギー負荷検査
・院内トリアージ実施料	・内服・点滴誘発試験
・外来放射線照射診療料	・センチネルリンパ節生検
・療養・就労両立支援指導料の注2に掲げる相談体制充実加算	・画像診断管理加算1・2
・がん治療連携計画策定料	・遠隔画像診断
・肝炎インターフェロン治療管理料	・ポジトロン断層撮影
・排尿自立指導料	・ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影
・ハイリスク妊産婦連携指導料1・2	・CT撮影及びMRI撮影
・薬剤管理指導料	・冠動脈CT撮影加算
・医療機器安全管理料1・2	・外傷全身CT加算
・医療機器安全管理料(歯科)	・心臓MRI撮影加算
・在宅血液透析指導管理料	・乳房MRI撮影加算
・持続血糖測定器加算	・外来化学療法加算1
・遺伝学的検査(遺伝学的検査の注)	・無菌製剤処理料
・抗HLA抗体(スクリーニング検査)及び抗HLA抗体(抗体特異性同定検査)	・心大血管疾患リハビリテーション料(I)
・HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	・脳血管疾患等リハビリテーション料(I)
・検体検査管理加算 I・IV	・運動器リハビリテーション料(I)
・遺伝カウンセリング加算	・呼吸器リハビリテーション料(I)
・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	・がん患者リハビリテーション料
・時間内歩行試験	・リンパ浮腫複合的治療料

施設基準の種類	施設基準の種類
・通院・在宅精神療法(児童思春期精神科専門管理加算)	・経カテーテル大動脈弁置換術
・エタノールの局所注入 (甲状腺に対するもの・副甲状腺に対するもの)	・経皮的僧帽弁クリップ術
・導入期加算2及び腎代替療法実績加算	・経皮的中隔心筋焼灼術
・透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
・センチネルリンパ節加算	・両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術
・皮膚移植術(死体)	・植込型除細動器移植術、植込型除細動器交換術及び 経静脈電極抜去術
・組織拡張器による再建手術(一連につき) (乳房(再建手術)の場合に限る)[一次再建・二次再建]	・両室ペースメーキング機能付き植込型除細動器移植術及び 両室ペースメーキング機能付き植込型除細動器交換術
・後縦靭帯骨化症手術(前方進入によるもの)	・大動脈バルーンパンピング法(IABP法)
・腫瘍脊椎骨全摘術	・補助人工心臓
・頭蓋骨形成手術(骨移動を伴うものに限る。)	・内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術
・脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。)及び 脳刺激装置交換術	・胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)
・脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	・胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び 肝切除(葉以上)を伴うものに限る)
・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術 (プレートのあるもの))	・体外衝撃波胆石破碎術
・緑内障手術(水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術)	・腹腔鏡下肝切除術
・網膜再建術	・体外衝撃波腓石破碎術
・人工中耳植込術	・腹腔鏡下腓腫瘍摘出術
・人工内耳植込術	・腹腔鏡下腓体尾部腫瘍切除術
・埋込型骨導補聴器移植術	・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
・埋込型骨導補聴器交換術	・小腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)
・内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)	・結腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)
・上顎洞形成術(骨移動を伴う場合に限る。)、下顎骨形成術(骨移 動を伴う場合に限る。)[歯科診療以外の診療に係るものに限る]	・体外衝撃波腎・尿管破碎術
・乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術(一連につき) (MRIによるもの)	・腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術 (内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・乳腺悪性腫瘍手術(乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を 伴わないもの)(腋窩郭清を伴うもの))	・腎(腎盂)腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)
・乳腺悪性腫瘍手術(注1・注2)	・同種死体腎移植術
・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後) [一次一期再建・一次二期的再建および二次再建]	・生体腎移植術
・肺悪性腫瘍手術(壁側・臓側胸膜全切除(横隔膜・ 心膜合併切除を伴うものに限る))	・尿管腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)
・食道縫合術(穿孔・損傷)(内視鏡によるもの)	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)	・膀胱腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)

施設基準の種類	施設基準の種類
・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術	・定位放射線治療呼吸性移動対策加算
・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・画像誘導密封小線源治療加算
・輸血管理料 I	・病理診断管理加算2
・輸血適正使用加算	・悪性腫瘍病理組織標本加算
・貯血式自己血輸血管理体制加算	・歯科治療時医療管理料
・コーディネート体制充実加算	・歯科口腔リハビリテーション料2
・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	・口腔病理診断管理加算1
・麻酔管理料(I)・(II)	・クラウン・ブリッジ維持管理料
・放射線治療専任加算	・歯科技工加算
・外来放射線治療加算	・歯科矯正診断料
・高エネルギー放射線治療	・歯周組織再生誘導手術料
・1回線量増加加算	・広範囲顎骨支持型装置埋入手術
・強度変調放射線治療(IMRT)	・腎代替療法実績加算
・画像誘導放射線治療加算(IGRT)	・バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術
・体外照射呼吸性移動対策加算	・CAD/CAM冠
・定位放射線治療	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注)1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。

(注)2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二〇年厚生労働省告示第五九号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	年 6 回
剖 検 の 状 況	剖検症例数 39 例 / 剖検率 5.3 %

(注) 「症例検討会の開催頻度」及び「剖検の状況」欄には、前年度の実績を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
網羅的タンパク質解析法を用いた硝子軟骨再生因子の同定	佐藤 正人	整形外科学	3,900,000	① 独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
iPS技術とIn Silico創薬による髄核前駆細胞の分化制御と椎間板修復	酒井 大輔	整形外科学	3,200,000	① 独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
ヒト多発性骨髄腫モデルマウスにおけるがんニッチ間相互作用の解析	安藤 潔	血液・腫瘍内科学	3,900,000	① 独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
B系列決定必須転写因子EBF1欠損をレスキューするmicroRNAの発見	幸谷 愛	血液・腫瘍内科学	1,800,000	① 独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
脳腫瘍のレーザー治療を確立するための脳光温熱生体数値シミュレーションモデルの開発	松前 光紀	脳神経外科学	4,700,000	① 独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
既成概念を打破する血清網羅的糖ペプチド解析による卵巣癌早期診断・予後診断法の開発	三上 幹男	産婦人科学	3,200,000	① 独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
長期に開存可能な下肢ステント：超弾性合金の変形に追従する血液適合性炭素薄膜の開発	長谷部光泉	画像診断学	5,800,000	① 独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
LIM蛋白ZNF185-上皮間葉転換機構のヒト肺癌肝転移マウスモデルを用いた解析	古川 大輔	消化器外科学	1,600,000	① 独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
創薬開発のための次世代核医学用コンプトンガンマ線カメラの実用化への基礎的開発	株木 重人	放射線治療科学	800,000	① 独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
漢方治療による腎機能改善メカニズムの解明と臨床応用	新井 信	漢方医学	700,000	① 独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
多施設共同弁膜症データベース構築および日欧米間の弁膜症疾患の特徴の比較解析	大野 洋平	循環器内科学	1,000,000	① 独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
肺癌での免疫細胞機能障害に関与するマイクロRNAの次世代シークエンサーによる探索	青木 琢也	呼吸器内科学	1,400,000	① 独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
副甲状腺細胞の株化手法の開発	角田 隆俊	腎・代謝内科学	1,200,000	① 独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
ABPM患者気道真菌叢(mycobiota)多様性と病態との関連	浅野浩一郎	呼吸器内科学	1,100,000	① 独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
胎児と内分泌因子が関与する妊娠維持・分娩発来機構の解明	石本 人士	産婦人科学	1,000,000	① 独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
身体疾患に伴ううつ病と栄養に関する観察研究および栄養サポートチームによる介入研究	山本 賢司	精神科学	500,000	① 独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
分子イメージングを用いた新たな腫瘍バイオマーカーの開発	橋本 順	画像診断学	800,000	① 独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
肺移植における気道上皮被覆液中の薬物濃度測定と免疫制御	岩崎 正之	呼吸器外科学	1,200,000	① 独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
損傷脊髄における小胞体ストレスとインフラマソームの関連およびその傷害作用	渡辺 雅彦	整形外科学	1,000,000	① 独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
multiple チロシンキナーゼ受容体阻害剤の関節軟骨修復効果の検討	長井 敏洋	整形外科学	600,000	① 独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
骨格筋由来多能性幹細胞による頭頸部癌切除後神経ネットワークの再生医療	大上 研二	耳鼻咽喉科学	600,000	① 独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業

口腔扁平上皮癌における分子標的薬耐性メカニズムと対策	山崎 浩史	口腔外科学	700,000	補委	独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
全血を試料とした単剤及び多剤併用時の薬毒物中毒評価に関する基礎データの構築	斉藤 剛	救命救急医学	1,000,000	補委	独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
骨発現Klothoによるミネラル代謝制御機構の解明	深川 雅史	腎・代謝内科学	2,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
再生アソシエイト細胞静注による脳梗塞治療法の開発	瀧澤 俊也	神経内科学	1,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
抗酸化防御機構の腎局所における活性化による腎障害軽減の検討	新村 文男	小児科学	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
多様な不規則呼吸パターンに対応する機械学習による標的位置予測システム	國枝 悦夫	放射線治療科学	1,000,000	補委	独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
食道癌におけるVasohibin発現の悪性度診断への応用と新規治療法の開発	小澤 壯治	消化器外科学	1,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
体内へ挿入可能なヒューマノイドハンドを用いた次世代型腹腔鏡下手術の提案	向井 正哉	消化器外科学	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
悪性肺腫瘍に対する経気管支的凍結融壊死療法の基礎実験	河野 光智	呼吸器外科学	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
椎間板変性におけるWntシグナルを介す転写制御機構の解析と新規腰痛治療薬の探索	檜山 明彦	整形外科	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
骨格筋間質幹細胞群を接着剤として利用した筋腱骨複合体の再生治療研究	内山 善康	整形外科	1,900,000	補委	独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
卵巣明細胞腺癌に発現する変異TrkBアインフォームのシグナル解析	後藤優美子	産婦人科学	1,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
最先端リポドミクス解析を用いた ω 3系脂肪乳剤の抗炎症効果に関する研究	渡邊 稔彦	小児外科学	900,000	補委	独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
味覚受容体遺伝子発現を指標としたがん化学療法による味覚障害発生機序の解明	傳田 祐也	口腔外科学	700,000	補委	独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
高齢者の地域居住を支える小規模多機能型居宅介護に勤務する介護福祉士の技術の明確化	渡邊 祐紀	介護福祉系	300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
骨髄異形成症候群の発症メカニズムに与える活性酸素(ROS)の影響	鬼塚 真仁	血液・腫瘍内科学	1,600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
腸内細菌叢による発達障害(神経発達症)の行動特性への影響の解明	三上 克央	精神科学	2,400,000	補委	独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
ナノダイヤモンド新規MRI造影剤による高精細MRIリンパ造影法の開発	松本 知博	画像診断学	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
ウイルス感染喘息における自然型及び獲得型アレルギーの病態解明と新規制御機構の検討	加藤 政彦	小児科学	1,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
創薬にむけたIPF急性増悪の病態研究:ステロイド不応性シグナル伝達経路に着目して	伊藤 洋子	呼吸器内科学	700,000	補委	独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
糸球体足細胞最終分化維持機構の解明と糖尿病性腎症に対する新規治療応用の開発	和田 健彦	腎・代謝内科学	1,600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
多発性骨髄腫におけるセマフォリン3Aシグナルを介した薬剤耐性機序の解明とその克服	鈴木利貴央	血液・腫瘍内科学	1,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
皮膚筋炎に併発する急速進行性間質性肺炎の病態解明と新規治療法開発の試み	佐藤 慎二	リウマチ内科学	1,000,000	補委	独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
神経障害性疼痛における活性化アストロサイト由来Dセリンの作用	伊藤 健二	麻酔科学	1,700,000	補委	独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業

モルヒネ誘発性疼痛メカニズムの 解明	松田 光正	麻酔科学	1,700,000	補委	独立行政法人日本 学術振興会 科学研究費助成事 業
敗血症感染原因菌に対する抗体 カクテル療法の確立と治療への 応用	渡邊 伸央	救命救急医学	1,400,000	補委	独立行政法人日本 学術振興会 科学研究費助成事 業
慢性疼痛時における内因性 ミューオピオイド受容体アロステ リックモジュレーター的作用	姜 卓義	麻酔科学	1,700,000	補委	独立行政法人日本 学術振興会 科学研究費助成事 業
脊髄損傷に対するグルカゴン用 ペプチド-1受容体作動薬の治療 効果	加藤 裕幸	整形外科学	1,100,000	補委	独立行政法人日本 学術振興会 科学研究費助成事 業
腎がん細胞のND1発現低下が細胞 内ROSと転移増殖能へ与える 影響の検討	金 伯士	泌尿器科学	2,100,000	補委	独立行政法人日本 学術振興会 科学研究費助成事 業
子宮内膜症発症・内膜症性嚢胞 癌化に関わる腫細胞のメタゲノ ム解析	信田 政子	産婦人科学	1,100,000	補委	独立行政法人日本 学術振興会 科学研究費助成事 業
網羅的血清糖ペプチドピークと人 工知能を用いた卵巣癌早期診断 法の開発	池田 仁恵	産婦人科学	1,200,000	補委	独立行政法人日本 学術振興会 科学研究費助成事 業
高速走査型ピコ秒レーザーシス テムの開発	河野 太郎	形成外科学	2,200,000	補委	独立行政法人日本 学術振興会 科学研究費助成事 業
酪酸菌による体内脂肪再配分機 構の解析	加川 建弘	消化器内科学	1,700,000	補委	独立行政法人日本 学術振興会 科学研究費助成事 業
悪性唾腺腫瘍におけるTrkB, BDNFの発現と機能の解析	近藤 裕介	口腔外科学	1,200,000	補委	独立行政法人日本 学術振興会 科学研究費助成事 業
抗線維化薬の新規スクリーニング 法の開発およびその応用	滝原 崇久	呼吸器内科学	900,000	補委	独立行政法人日本 学術振興会 科学研究費助成事 業
細菌由来フェノール酸に注目した 新たな敗血症マーカーの探索と 治療への応用	辻 友篤	救命救急医学	500,000	補委	独立行政法人日本 学術振興会 科学研究費助成事 業
急性腎傷害に伴う骨ミネラル代謝 異常の病態解明	駒場 大峰	腎・代謝内科学	1,200,000	補委	独立行政法人日本 学術振興会 科学研究費助成事 業
過形成副甲状腺に対する臨床応 用可能な光線力学的治療法の開 発	都川 貴代	腎・代謝内科学	1,300,000	補委	独立行政法人日本 学術振興会 科学研究費助成事 業
副甲状腺機能亢進症における腫 瘍化関連microRNA同定と新規診 断・治療法の開発	金井 巖太	腎・代謝内科学	800,000	補委	独立行政法人日本 学術振興会 科学研究費助成事 業
糸球体線維化の再検討	小泉 賢洋	腎・代謝内科学	1,100,000	補委	独立行政法人日本 学術振興会 科学研究費助成事 業
難治性前立腺癌におけるMUC1 を中心としたシグナル伝達の制御 による新規治療戦略	長谷川政徳	泌尿器科学	1,600,000	補委	独立行政法人日本 学術振興会 科学研究費助成事 業
膵管癌におけるNecl-4の関連 miRNAの解明と新規診断・治療 への応用	川西 彩	消化器内科学	1,200,000	補委	独立行政法人日本 学術振興会 科学研究費助成事 業
男女差から検討するたこつぼ型 心筋症の病態解明	村上 力	循環器内科学	1,000,000	補委	独立行政法人日本 学術振興会 科学研究費助成事 業
過形成副甲状腺の周辺脂肪組織 に検出される異所的な副甲状腺 ホルモン産生細胞の解析	巽 亮子	腎・代謝内科学	1,600,000	補委	独立行政法人日本 学術振興会 科学研究費助成事 業
乳癌における免疫関連細胞の解 明と効果予測因子の開発	新倉 直樹	乳腺・内分泌外科学	4,400,000	補委	独立行政法人日本 学術振興会 科学研究費助成事 業
骨格筋間質由来多能性幹細胞と スキューフォールドを用いたハイ ブリッド肺組織移植	大岩 加奈	呼吸器外科学	1,400,000	補委	独立行政法人日本 学術振興会 科学研究費助成事 業
腹直筋を移植細胞ソースとした骨 格筋由来幹細胞による尿失禁治 療	中島 信幸	泌尿器科学	1,600,000	補委	独立行政法人日本 学術振興会 科学研究費助成事 業
頭頸部癌における選択的スプライ シングを介した発癌機構の解明	酒井 昭博	耳鼻咽喉科学	1,000,000	補委	独立行政法人日本 学術振興会 科学研究費助成事 業

水素投与によるマウス未熟児網膜症の改善効果および血管内皮前駆細胞の動態の検討	中川 喜博	眼科学	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
造血幹細胞移植時に生じる口腔粘膜障害と口腔細菌叢の関係についての検討	高橋 美穂	口腔外科学	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
Liquid biopsyは口腔扁平上皮癌で有効か？[NOTCH1に注目して]	内堀 雅博	口腔外科学	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
体内リズム調節ホルモン解析によるオーラルフレイル予防法の開発	小嶋 玲奈	口腔外科学	1,000,000	補委	独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
スーパーコンピューターによる「分子レバレッジ」仮説の検証	後藤 信哉	循環器内科学	500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
アレルギー性気管支肺真菌症の新・診断基準の検証と新規治療開発	浅野 浩一郎	呼吸器外科学	4,593,240	補委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
同種細胞シートを用いた変形性膝関節症に対する再生医療の実現	佐藤 正人	整形外科学	33,769,231	補委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
膝窩動脈以下(below-the-knee: BTK)の細径動脈硬化性病変に対する長期開存ステントシステムの開発	長谷部光泉	画像診断学	8,850,760	補委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
炎症がん由来エクソソームにおける脂質の役割	幸谷 愛	血液・腫瘍内科学	18,095,734	補委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
関節軟骨再生治療の普及を加速するiPS細胞由来軟骨細胞シートの研究開発	佐藤 正人	整形外科学	24,000,000	補委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
ドクターヘリの適正利用および安全運航に関する研究	猪口 貞樹	救命救急医学	3,110,000	補委	厚生労働省 科学研究費助成事業

計11件

合計80件

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入する
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Masako Toyosaki	医学部医学科内科学系血液・腫瘍内科学	Primary CNS post-transplant lymphoproliferative disorder following haplo-identical HSCT using post-transplant high-dose cyclophosphamide.	Blood Cell Therapy,201810,Vol.2 Issue 1 No.1,1-4	Original Article
2	Hidetsugu Kawai	医学部医学科内科学系血液・腫瘍内科学	Dysplastic features seen in a patient with acute myeloid leukemia harboring the KMT2A-TET1 fusion gene.	In J Hematol.,201808,108(2),232	Original Article
3	Koichiro Asano	医学部医学科内科学系呼吸器内科学	Deficiency of CRTH2, a Prostaglandin D2 Receptor, Aggravates Bleomycin-induced Pulmonary Inflammation and Fibrosis	American Journal of Respiratory Cell and Molecular Biology,201903,60(3),289-298	Original Article
4	Koichiro Asano	医学部医学科内科学系呼吸器内科学	Predicting and modifying factors of bone mineral density decline in patients with COPD	Respiratory medicine,201903,148,13-23	Original Article
5	Koichiro Asano	医学部医学科内科学系呼吸器内科学	Neutrophil to lymphocyte ratio is a novel independent predictor of severe exacerbation in asthma patients	Annals of allergy, asthma & immunology,201903,122(3),337-339	Original Article
6	Masayuki Oki	医学部医学科内科学系総合内科学	Glucocorticoid Receptor Antagonist Administration Prevents Adrenal Gland Atrophy in an ACTH-Independent Cushing's Syndrome Rat Model	International Journal of Endocrinology,201902,2019, Article ID 8708401, 9 pages	Original Article
7	Rikio Suzuki	医学部医学科内科学系血液・腫瘍内科学	TAS-116	Drugs of the Future,201804,43(1),13-21	Original Article
8	Shinji Sato	医学部医学科内科学系リウマチ内科学	Initial predictors of poor survival in myositis-associated interstitial lung disease: a multicentre cohort of 497 patients	Rheumatology,201804,57,1212-1221	Original Article
9	Shinji Sato	医学部医学科内科学系リウマチ内科学	Anti-Aminoacyl tRNA Synthetases Antibodies in Japanese Patients with Interstitial Lung Disease	Open Journal of Rheumatology and Autoimmune Diseases,201804,8,34-42	Original Article
10	Hiroto Takiguchi	医学部医学科内科学系呼吸器内科学	Proportion and clinical characteristics of non-asthmatic non-smokers among adults with airflow obstruction	Public Library of Science one,201805,13(5),e0196132	Original Article

計10件

11	Eiichiro Nagata	医学部医学科内科学系神経内科学	Cilostazol is effective to prevent stroke-associated pneumonia in patients receiving tube feeding.	Dysphagia,201804,5,716-724	Original Article
12	Moritsugu Kimura	医学部医学科内科学系腎・代謝内科学	Detection of autonomic nervous system abnormalities in diabetic patients by 24-hour ambulatory blood pressure monitoring.	Tokai J Exp Clin Med.,201809,43,18-19	Original Article
13	Yoko Ito	医学部医学科内科学系呼吸器内科学	IL-13 induces periostin and eotaxin expression in human primary alveolar epithelial cells: Comparison with paired airway epithelial cells.	PLoS One,201804,13(4),e0196256	Original Article
14	Kazunari Honma	医学部医学科内科学系神経内科学	A young patient with Emery-Dreifuss muscular dystrophy treated with endovascular therapy for cardioembolic stroke: A case report	The Tokai Journal of Experimental and Clinical Medicine,201809,Vol.43 No.3 September,103-105	Original Article
15	Shoji Kazahari	医学部医学科内科学系神経内科学	Symptomatic lacunar infarct accompanied with posterior reversible encephalopathy syndrome: A case report	The Tokai Journal of Experimental and Clinical Medicine,201804,Vol.43 No.2 April,pp.64-67	Original Article
16	Mari Ishida	医学部医学科内科学系腎・代謝内科学	Critical Governance Issue of Parathyroid Hormone Assays and its Selection in the Management of Chronic Kidney Disease Mineral and Bone Disorders	Therapeutic Apheresis and Dialysis ,201804,2018; 22(3):,220から228	Original Article
17	Takashi Matsukage	医学部医学科内科学系循環器内科学	Effect of cardiac rehabilitation on the renal function in chronic kidney disease - Analysis using serum cystatin-C based glomerular filtration rate.	International Journal of Cardiology Heart & Vasculature,201804,Apr 22;19,27-33	Original Article
18	Rikio Suzuki	医学部医学科内科学系血液・腫瘍内科学	Successful autologous peripheral blood stem cell harvest and transplantation after splenectomy in a patient with multiple myeloma with hereditary spherocytosis	International Journal of Myeloma,201810,8(3);11-15,11-15	Original Article
19	Fumio Sakamaki	医学部医学科内科学系呼吸器内科学	An autopsy case of paradoxical pulmonary thromboembolism by arteriovenous fistula from right common iliac artery to common iliac vein: a rare cause of pulmonary embolism	American Journal of Case Reports,201811,19,1301-1305	Original Article
20	Fumio Sakamaki	医学部医学科内科学系呼吸器内科学	Prognostic understanding at diagnosis and associated factors in patients with advanced lung cancer and their caregivers	Oncologist,201810,23(10),1218-1229	Original Article
21	Hiroshi Kawada	医学部医学科内科学系血液・腫瘍内科学	Iron removal enhances vitamin C-induced apoptosis and growth inhibition of K-562 leukemic cells	Scientific Reports,201811,8,17377 (Article Number)	Original Article

計11件

22	Hiroataka Komaba	医学部医学科内科学系腎・代謝内科学	Mineral and bone disorder management in hemodialysis patients: comparing PTH control practices in Japan with Europe and North America: the Dialysis Outcomes and Practice Patterns Study (DOPPS)	BMC Nephrology,201810,12,1489-1497	Original Article
23	Tooru Ishihara	医学部医学科内科学系総合内科学	Severe herpes simplex virus pneumonia in an elderly, immunocompetent patient	BMJ Case Report,201807, BMJ Case Rep. 2018 Jul 18;2018, BMJ Case Rep. 2018 Jul 18;2018. pii: bcr-2017-224022. doi: 10.1136/bcr-2017-224022.	Original Article
24	Koichiro Asano	医学部医学科内科学系呼吸器内科学	Plasma sE-cadherin and the plasma sE-cadherin/sVE-cadherin ratio are potential biomarkers for chronic obstructive pulmonary disease	Biomarkers,201807,23(5),414-421	Original Article
25	Koichiro Asano	医学部医学科内科学系呼吸器内科学	Clinical utility of blood neutrophil-lymphocyte ratio in Japanese COPD patients	BioMed Central pulmonary medicine,201805,18(1),65	Original Article
26	Koichiro Asano	医学部医学科内科学系呼吸器内科学	Impact of cataract on health-related quality of life in a longitudinal Japanese chronic obstructive pulmonary cohort	Chronic respiratory disease,201811,15(4),329-338	Original Article
27	Koichiro Asano	医学部医学科内科学系呼吸器内科学	De novo sensitization to Aspergillus fumigatus in adult asthma over a 10-year observation period	Allergy,201812,73(12),2385-2388	Original Article
28	Hiroto Takiguchi	医学部医学科内科学系呼吸器内科学	Proportion and clinical characteristics of non-asthmatic non-smokers among adults with airflow obstruction	PLOS ONE,201805,13(5),e0196132	Original Article
29	Koichiro Asano	医学部医学科内科学系呼吸器内科学	Concordance between Aspergillus-specific precipitating antibody and IgG in allergic bronchopulmonary aspergillosis	Allergology international,201809,67S,S12-S17	Original Article
30	Rikio Suzuki	医学部医学科内科学系血液・腫瘍内科学	Tamibarotene maintenance improved relapse-free survival of acute promyelocytic leukemia: a final result of prospective, randomized, JALSG-APL204 study.	Leukemia,201902,33(2),358-370	Original Article
31	Rikio Suzuki	医学部医学科内科学系血液・腫瘍内科学	A case of double-refractory multiple myeloma with both the IgH-MMSET fusion protein and the congenital abnormality t(11;22)	International journal of hematology,201901 (オンライン),doi: 10.1007/s12185-019-02603-3	Original Article
32	Ai Koutani	医学部医学科内科学系血液・腫瘍内科学	The immunological function of extracellular vesicles in Hepatitis B virus-infected hepatocytes	PLoS ONE,201812,13(12),e0205886	Original Article

33	Ai Koutani	医学部医学科内科学系血液・腫瘍内科学	Role of exosomes as a proinflammatory mediator in the development of EBV-associated lymphoma	Blood,201806,131(23),2552-67	Original Article
34	Saki Manabe	医学部医学科内科学系総合内科学	Neuroleptic malignant syndrome as part of an akinetic crisis associated with sepsis in a patient with Lewy body disease	BMJ Case Reports,201902,Vol 12, Issue 2,doi:10.1136/bcr-2018-227216	Original Article
35	Ichiro Kuwahira	医学部医学科内科学系呼吸器内科学	Systemic Oxygen Transport with Rest, Exercise, and Hypoxia: A Comparison of Humans, Rats, and Mice	Comprehensive Physiology,201809,Vol. 8,1537-1573	Original Article
36	Ichiro Kuwahira	医学部医学科内科学系呼吸器内科学	A 48-Year-Old Man With Multiple Pulmonary Nodular Opacities and Elevated KL-6 Level	CHEST,201809,Vol. 154 No. 3,e77-e81	Original Article
37	Fuminobu Yoshimachi	医学部医学科内科学系循環器内科学	Evaluation of the diameter of the distal radial artery at the anatomical snuff box using ultrasound in Japanese patients.	Cardiovasc Interv Ther,201901,2019 Jan 7,doi:10.1007/s12928-018-00567-5. [Epub ahead of print]	Original Article
38	Rikio Suzuki	医学部医学科内科学系血液・腫瘍内科学	A Case of Composite Lymphoma with Extranodal NK/T-cell Lymphoma, Nasal-type and Diffuse Large B-cell Lymphoma.	Journal of clinical and experimental hematopathology,201903,Vol. 59 No.1,34-39	Original Article
39	Kenji Yokoyama	医学部医学科内科学系血液・腫瘍内科学	Effects of daily aspirin on cancer incidence and mortality in the elderly Japanese.	Research and Practice in Thrombosis and Haemostasis,201804,2,274-281	Original Article
40	Atsuhiko Sugimoto	医学部医学科内科学系循環器内科学	Apixaban for the treatment of cancer-associated venous thromboembolism and left atrial appendage thrombus refractory to optimal anticoagulation with warfarin: a case report	European Heart Journal Case Report,201811,Volume2, issue 4,135	Original Article
41	Takeshi Ijichi	医学部医学科内科学系循環器内科学	Targeting extracellular vesicles to injured tissue using membrane cloaking and surface display.	Journal of Nanobiotechnology,201808,16,61	Original Article
42	Kiyoshi Ando	医学部医学科内科学系血液・腫瘍内科学	R-High-CHOP/CHASER/LEED with autologous stem cell transplantation in newly diagnosed mantle cell lymphoma: JCOG0406 STUDY	Cancer Sci,201809,Volume109, Issue9,2830-2840	Original Article
43	Shigetaka Kanda	医学部医学科内科学系循環器内科学	Relation between autonomic nervous activity after pulmonary vein isolation and recurrence in paroxysmal atrial fibrillation patients	THE TOKAI JOURNAL of EXPERIMENTAL and CLINICAL MEDICINE,201809,Vol. 43, No. 4,pp. 153-160	Original Article

計11件

44	Makoto Onizuka	医学部医学科内科学系血液・腫瘍内科学	Additional Cytogenetic Abnormalities with Philadelphia Chromosome-Positive Acute Lymphoblastic Leukemia on Allogeneic Stem Cell Transplantation in the Tyrosine Kinase Inhibitor Era.	Biology of Blood and Marrow Transplantation,201810,24(10),47-57	Original Article
45	Makoto Onizuka	医学部医学科内科学系血液・腫瘍内科学	Recipient ADAMTS13 Single-Nucleotide Polymorphism Predicts Relapse after Unrelated Bone Marrow Transplantation for Hematologic Malignancy.	International Journal of Molecular Sciences,201901,20(1),214	Original Article
46	Kiyoshi Ando	医学部医学科内科学系血液・腫瘍内科学	Prospective analysis of the association between skeletal-related events and quality of life in patients with advanced lung cancer (CSP-HOR13)	Oncology Letters,201901,Volume 17 Issue 1,1320-1326	Original Article
47	Akihiko Hiyama	医学部医学科外科学系整形外科	Prevalence of diffuse idiopathic skeletal hyperostosis (DISH) assessed with wholspine computed tomography in 1479 subjects	BMC Musculoskeletal Disorders,201805,19,178	Original Article
48	Kazutake Okada	医学部医学科外科学系消化器外科学	Tattooing improves the detection of small lymph nodes and increases the number of retrieved lymph nodes in patients with rectal cancer who receive preoperative chemoradiotherapy: A randomized controlled clinical trial.	The American Journal of Surgery ,201804,215(4),563-569	Original Article
49	Yusuke Nakamura	医学部医学科外科学系呼吸器外科学	Free-floating cancer cells in lymph node sinuses of hilar lymph node-positive patients with non-small cell lung cancer	MOLECULAR MEDICINE REPORTS,201805,18,1081-1087	Original Article
50	Kenji Ito	医学部医学科外科学系麻酔科学	Anesthetic Management in Tracheal Dilatation for Severe Tracheal Stenosis	The Tokai Journal of Experimental and Clinical Medicine,201807,43,50-53	Original Article
51	Hiroyuki Otsuka	医学部医学科外科学系救命救急医学	Optimal treatment for ruptured pancreaticoduodenal artery aneurysm caused by celiac artery obstruction due to celiac artery dissection.	Vascular and Endovascular Surgery,201807,52(8),648-652	Original Article
52	Hiroyuki Otsuka	医学部医学科外科学系救命救急医学	Impact of emrgency physicians competent in severe trauma management,surgical techniques,and in interventional radiology on trauma management	Acute medicine & surgery,201807,5,342-349	Original Article
53	Hideki Izumi	医学部医学科外科学系消化器外科学	Internal biliary drainage for isolated posterior segmental biliary obstruction: a case report	Journal of Medical Case Reports,201806,12,156-160	Original Article

54	Ryota Masuda	医学部医学科外科学系呼吸器外科学	Epithelial-mesenchymal Transition (EMT) is Correlated with Patient's Prognosis of Lung Squamous Cell Carcinoma	The Tokai Journal of Experimental and Clinical Medicine,201804,43,2-13	Original Article
55	Masahiro Nitta	医学部医学科外科学系泌尿器科学	Laparoendoscopic Single-site Plus 1-port Donor Nephrectomy: Division of Roles to Shorten Warm Ischemic Time	Transplantation Proceedings,201806,Volume 50, Issue 5,1238-1242	Original Article
56	Akira Miyajima	医学部医学科外科学系泌尿器科学	Change of the $5\alpha/5\beta$ ratio of urinary steroid metabolites in benign prostatic hyperplasia patients treated with dutasteride.	Clin Biochem,201805,55,36-41	Original Article
57	Akira Miyajima	医学部医学科外科学系泌尿器科学	Two-stage resection of a bilateral pheochromocytoma and pancreatic neuroendocrine tumor in a patient with von Hippel-Lindau disease: A case report.	International Journal of Surgery Case Reports ,201804,44,139-142	Original Article
58	Akihiro Kaneko	医学部医学科外科学系口腔外科学	Cross-contamination of bacteria-colonized pierced earring holes and fingers in nurses is a potential source of healthcare-associated infections	American Journal of Infection Control,201807,July 4,,Pages1-4	Original Article
59	Takayuki Tajima	医学部医学科外科学系消化器外科学	Perforated gastrointestinal stromal tumor in the small intestine: A rare case of Torricelli-Bernoulli sign	Molecular and clinical oncology,201808,9,399-402	Original Article
60	Akira Tanaka	医学部医学科外科学系消化器外科学	Retrospective study of regorafenib and trifluridine/tipiracil efficacy as a third-line or later chemotherapy regimen for refractory metastatic colorectal cancer	Oncology Letters,201809,Volume 16, Issue 5,6589-6597	Original Article
61	Takahiro Shimizu	医学部医学科外科学系小児外科学	A curative treatment strategy using tumor debulking surgery combined with immune checkpoint inhibitors for advanced pediatric solid tumors: An in vivo study using a murine model of osteosarcoma.	Journal of Pediatric Surgery,201812,53(12),2460-2464	Original Article
62	Akihiko Hiyama	医学部医学科外科学系整形外科学	CCN family member 2/connective tissue growth factor (CCN2/CTGF) is regulated by Wnt β -catenin signaling in nucleus pulposus cells	Arthritis Research & Therapy,201809,20,217	Original Article
63	Akihito Kazuno	医学部医学科外科学系消化器外科学	Regeneration of Transected Recurrent Laryngeal Nerve Using Hybrid-Transplantation of Skeletal Muscle-Derived Stem Cells and Bioabsorbable Scaffold	Journal of Clinical Medicine,201809,7(9), 276,jcm7090276	Original Article

計10件

64	Takatoshi Sorimachi	医学部医学科外科学系脳神経外科学	Preservation of Anterior Choroidal Artery Blood Flow During Trapping of the Internal Carotid Artery for a Ruptured Blood Blister-Like Aneurysm with High-Flow Bypass.	World Neurosurgery,201902,122,e847-e855	Original Article
65	Takatoshi Sorimachi	医学部医学科外科学系脳神経外科学	Effects of Pre-Existing Comorbidities on Outcomes in Patients with Chronic Subdural Hematoma.	World Neurosurgery,201902,122,e924-e932	Original Article
66	Takatoshi Sorimachi	医学部医学科外科学系脳神経外科学	The combination of warfarin use and the spot sign leads to detrimental outcomes in patients with intracerebral hematomas.	Clinical Neurology and Neurosurgery,201901,178,20-24	Original Article
67	Mari Amino	医学部医学科外科学系救命救急医学	Prolonged Autonomic Fluctuation Derived from Parasympathetic Hypertonia after Carotid Endarterectomy but not Stenting.	J Stroke Cerebrovasc Diseases,201901,28(1),10-20.	Original Article
68	Mari Amino	医学部医学科外科学系救命救急医学	The presence of late potentials after percutaneous coronary intervention for the treatment of acute coronary syndrome as a predictor for future significant cardiac events resulting in re-hospitalization.	J Electrocardiol.,201901,2(53),71-78.	Original Article
69	Sunao Shoji	医学部医学科外科学系泌尿器科学	Magnetic resonance imaging-transrectal ultrasound fusion image-guided prostate biopsy: Current status of the cancer detection and the prospects of tailor-made medicine of the prostate cancer	Investigative and Clinical Urology,201901,60(1),p.4-13	Original Article
70	Shinichirou Shimura	医学部医学科外科学系心臓血管外科学	Echocardiography-guided aortic cannulation by the Seldinger technique for type A dissection with cerebral malperfusion	The Journal of Thoracic and Cardiovascular Surgery,201903,なし,なし	Original Article
71	Yamato Ninomiya	医学部医学科外科学系消化器外科学	Expression of vasohibin 1 and 2 predicts poor prognosis among patients with squamous cell carcinoma of the esophagus.	Oncology Letters,201810,16,5265-5274	Original Article
72	Toshihiko Watanabe	医学部医学科外科学系小児外科学	Japanese clinical practice guidelines for allied disorders of Hirschsprung's disease	Pediatr Int,201805,60(5),400-410	Original Article
73	Toshihiko Watanabe	医学部医学科外科学系小児外科学	Congenital hyperinsulinism treated by surgical resection of the hyperplastic lesion which had been preoperatively diagnosed by 18F-DOPA PET examination in Japan: a nationwide survey	Pediatr Surg Int,201810,34(10),1093-1098	Original Article

計10件

74	Toshihiko Watanabe	医学部医学科外科学系小児外科学	Acute pancreatitis caused by a duodenal duplication cyst covering the ampulla of Vater	Journal of Pediatric Surgery Case Reports,201804,34,23-26	Original Article
75	Toshihiko Watanabe	医学部医学科外科学系小児外科学	A case of congenital autonomous thyroid adenoma with a somatic activating gene mutation in the thyroid-stimulating hormone receptor	Journal of Pediatric Surgery Case Reports,201808,38,50-52	Original Article
76	Toshihiko Watanabe	医学部医学科外科学系小児外科学	Predictors of early lobectomy after birth in prenatally diagnosed congenital pulmonary airway malformation.	J Pediatr Surg,201809,,doi:10.1016/j.pedsurg.2018.08.025. [Epub ahead of print]	Original Article
77	Toshihiko Watanabe	医学部医学科外科学系小児外科学	An investigation on clinical differences between congenital pulmonary airway malformation and bronchial atresia	J Pediatr Surg,201809,,doi:10.1016/j.pedsurg.2018.08.031. [Epub ahead of print]	Original Article
78	Masami Shimoda	医学部医学科外科学系脳神経外科学	Clinical significance of centripetal propagation of vasoconstriction in patients with reversible cerebral vasoconstriction syndrome: A retrospective case-control study	Cephalalgia,201810,38(12),1864-1875	Original Article
79	Ushio Hanai	医学部医学科外科学系形成外科学	Speech Outcomes of 10-year-old Children after Early Palatoplasty Using Presurgical Orthodontics at 6 Months of Age	Tokai Journal of Experimental and Clinical Medicine,201812,43(4),in press	Original Article
80	Hiroyuki Otsuka	医学部医学科外科学系救命救急医学	Effect of resuscitative endovascular balloon occlusion of the aorta in hemodynamically unstable patients with multiple severe torso trauma: a retrospective study	World Journal of Emergency Surgery,201810,25,13:49.	Original Article
81	Masato Sato	医学部医学科外科学系整形外科学	Cartilage repair and inhibition of the progression of cartilage degeneration after transplantation of allogeneic chondrocyte sheets in a nontraumatic early arthritis model	Regenerative Therapy,201807,9,24-31	Original Article
82	Masato Sato	医学部医学科外科学系整形外科学	Rabbit xenogeneic transplantation model for evaluating human chondrocyte sheets used in articular cartilage repair	J Tissue Eng Regen Med,201807,12(10),2067-2076	Original Article
83	Taku Ukai	医学部医学科外科学系整形外科学	Opioid administration via epidural catheter is a risk factor for postoperative nausea and vomiting in total hip arthroplasty: A retrospective study	Journal of Orthopaedic Science,201807,,973-976	Original Article
84	Genya Mitani	医学部医学科外科学系整形外科学	Evaluation of the association between locomotive syndrome and metabolic syndrome	Journal of Orthopaedic Science,201811,23(2018),1056-1062	Original Article

85	Eiji Nomura	医学部医学科外科学系消化器外科学	Functional evaluations comparing the double-tract method and the jejunal interposition method following laparoscopic proximal gastrectomy for gastric cancer: an investigation including laparoscopic total gastrectomy	Surg Today,201901,49,38-48	Original Article
86	Eiji Nomura	医学部医学科外科学系消化器外科学	The crossover technique for intracorporeal esophagojejunostomy following laparoscopic total gastrectomy: a simple and safe technique using a linear stapler and two barbed sutures	Surg Endosc,201809,33,1386-1393	Original Article
87	Akihiro Kaneko	医学部医学科外科学系口腔外科学	Gene expression analysis in the potent bactericidal activity of sitafloxacin against Streptococcus pneumoniae	Journal of Infection and Chemotherapy,201809,Volume 25, Issue 4,322-324	Original Article
88	Takayuki Aoki	医学部医学科外科学系口腔外科学	Longitudinal changes in the quality of life of oral cancer patients during the perioperative period	International Journal of Clinical Oncology,201812,23(6),1038-1045	Original Article
89	Akihiko Hiyama	医学部医学科外科学系整形外科学	Correlation analysis of sagittal alignment and skeletal muscle mass in patients with spinal degenerative disease.	Scientific Reports,201810,8,15492	Original Article
90	Yasunori Cho	医学部医学科外科学系心臓血管外科学	Estimating postoperative left ventricular volume: Identification of responders to surgical ventricular reconstruction.	Journal of thoracic and cardiovascular surgery,201812,2018;156,2089-2096	Original Article
91	Akira Miyajima	医学部医学科外科学系泌尿器科学	Evaluation of prostate-specific antigen density in the diagnosis of prostate cancer combined with magnetic resonance imaging before biopsy in men aged 70 years and older with elevated PSA	Mol Clin Oncol,201809,9,656-660	Original Article
92	Akira Miyajima	医学部医学科外科学系泌尿器科学	Pre-operative and post-operative estimated glomerular filtration rate in Japanese patients with urological malignancies.	Clin Exp Nephrol,201810,22(5),1205-1212	Original Article
93	Takayuki Aoki	医学部医学科外科学系口腔外科学	The use of radiation therapy in the definitive management of ameloblastic carcinoma: a case report.	Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol,201902,127,e56-e60	Original Article
94	Akira Miyajima	医学部医学科外科学系泌尿器科学	Vasohibin-1 as a novel microenvironmental biomarker for patient risk reclassification in low-risk prostate cancer.	Oncotarget,201804,42(4),1139-1148	Original Article
95	Yoichi Nonaka	医学部医学科外科学系脳神経外科学	Single-stage total resection of giant dumbbell-shaped hypoglossal schwannoma: a case report	Acta Neurochir (Wien),201804,Apr;160(4),Apr;160(4):727-730	Original Article

96	Yoichi Nonaka	医学部医学科外科学系脳神経外科学	The combination of warfarin use and the spot sign leads to detrimental outcomes in patients with intracerebral hematomas.	Clinical Neurology and Neurosurgery,201901,178,Jan 17;178;20-24	Original Article
97	Takatoshi Sorimachi	医学部医学科外科学系脳神経外科学	Hemiparesis without Responsible Hematomas in Patients with Subarachnoid Hemorrhage Undergoing Early Aneurysmal Repair.	World Neurosurgery,201901,121,e614-e620	Original Article
98	Ryota Masuda	医学部医学科外科学系呼吸器外科学	Tracheal Mucoepidermoid Carcinoma Surgery Using Percutaneous Cardiopulmonary Support	Clinics in Surgery,201812,Volume 3 Article 2254,1-3	Original Article
99	Ryota Masuda	医学部医学科外科学系呼吸器外科学	Thoracoscopic Surgery using a Silicone Tube as a Guide for an Automated Suturing Device	Journal of Clinical Case Reports,201811,Volume 8, Issue 11,DOI: 10.4172/2165-7920.10001191	Original Article
100	Kanshu Cho	医学部医学科外科学系脳神経外科学	Effect of Sagittal Spinal Balance on the Outcome of Decompression Surgery for Lumbar Canal Stenosis.	World Neurosurgery,201811,119,e200-e208	Original Article
101	Kanshu Cho	医学部医学科外科学系脳神経外科学	Probe Laminotomy: A Simple Technique for Precise Lateral Gutter Placement in Cervical Expansive Laminoplasty.	World Neurosurgery,201810,118,e616-e620	Original Article
102	Toshio Nakagohri	医学部医学科外科学系消化器外科学	Conversion surgery for an initially unresectable, locally advanced pancreatic cancer after induction chemotherapy and carbon-ion radiotherapy: a case report.	Surg Case Rep,201809,4(1),112	Original Article
103	Toshio Nakagohri	医学部医学科外科学系消化器外科学	Rectal Neuroendocrine Tumor with Synchronous Pancreatic Metastasis: A Case Report.	Tokai J Exp Clin Med,201807,43(2),38-44	Original Article
104	Toshio Nakagohri	医学部医学科外科学系消化器外科学	use of smartphone-based head-mounted display devices to view a three-dimensional dissection model in a virtual reality environment: pilot questionnaire study	JMIR Medical Education,201901,5(1),e11921	Original Article
105	Mitsunobu Otsuru	医学部医学科外科学系口腔外科学	Progression level of extracapsular spread and tumor budding for cervical lymph node metastasis of OSCC.	Clin Oral Investig,201810,22,1311-1318	Original Article
106	Mitsunobu Otsuru	医学部医学科外科学系口腔外科学	Multi-center retrospective study of the prognosis and treatment outcomes of Japanese oral squamous cell carcinoma patients with single lymph node metastasis and extra nodal extension.	J Surg Oncol,201805,117,1736-1743	Original Article

計11件

107	Mitsunobu Otsuru	医学部医学科外科学系口腔外科学	A Multicenter Retrospective Study of Elective Neck Dissection for T1-2N0M0 Tongue Squamous Cell Carcinoma: Analysis Using Propensity Score-Matching.	Ann Surg Oncol.,201812,26,555-263	Original Article
108	Mitsunobu Otsuru	医学部医学科外科学系口腔外科学	Tumor budding and adjacent tissue at the invasive front correlate with delayed neck metastasis in clinical early-stage tongue squamous cell carcinoma	J Surg Oncol,201903,119,370-378	Original Article
109	Mitsunobu Otsuru	医学部医学科外科学系口腔外科学	Effectiveness of a comprehensive oral management protocol for the prevention of severe oral mucositis in patients receiving radiotherapy with or without chemotherapy for oral cancer: a multicentre, phase II, randomized controlled trial.	Int J Oral Maxillofac Surg,201901,18,doi: 10.1016/j.ijom.	Original Article
110	Kazuo Koyanagi	医学部医学科外科学系消化器外科学	Long-term outcome after resection for recurrent esophageal cancer	J Thorac Dis,201804,10,2691-9	Original Article
111	Kazuo Koyanagi	医学部医学科外科学系消化器外科学	Lateral thermal spread and recurrent laryngeal nerve paralysis after minimally invasive esophagectomy in bipolar vessel sealing and ultrasonic electrocautery devices: a comparative study	Esophagus,201805,15,249-55	Original Article
112	Kazuo Koyanagi	医学部医学科外科学系消化器外科学	Mixed adenoneuroendocrine carcinoma of the esophagogastric junction: A case report	Surg Case Rep,201808,4,56	Original Article
113	Kazuo Koyanagi	医学部医学科外科学系消化器外科学	Effectiveness of neoadjuvant chemotherapy with etoposide and cisplatin followed by surgery for esophageal neuroendocrine carcinoma: A case report	J Thorac Dis,201806,10(6),E450-5	Original Article
114	Hiroshi Yamazaki	医学部医学科外科学系口腔外科学	Mandibular pain, trismus, and weight loss in a 75-year-old man.	Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol,201812,Vol.126(6),451-456	Original Article
115	Daisuke Sakai	医学部医学科外科学系整形外科学	IVD progenitor cells: anew horizon for understanding disc homeostasis and repair.	Nature Reviews Rheumatology,201902,15-2,102-112	Original Article
116	Daisuke Sakai	医学部医学科外科学系整形外科学	Cell therapy for intervertebral disc herniation and degenerative disc disease: clinical trials.	International Orthopaedics,201811,43-4,1011-1025	Original Article

117	Daisuke Sakai	医学部医学科外科学系整形外科学	FOXO are required for intervertebral disk homeostasis during aging and their deficiency promotes disk degeneration.	Aging Cell,201810,17-5,e12800	Original Article
118	Daisuke Sakai	医学部医学科外科学系整形外科学	Advancing cell therapies for intervertebral disc regeneration from the lab to the clinic: Recommendations of the ORS spinesection.	JOR Spine,201809,1-4,e1036	Original Article
119	Daisuke Sakai	医学部医学科外科学系整形外科学	Successful fishing for nucleus pulposus progenitor cells of the intervertebral disc across species.	JOR Spine,201806,1-(2),e1018	Original Article
120	Takayuki Aoki	医学部医学科外科学系口腔外科学	Trousseau syndrome in a patient with advanced oral squamous cell carcinoma: a case report.	J Med Case Rep,201901,13,26	Original Article
121	Daisuke Sakai	医学部医学科外科学系整形外科学	Animal models for studying the etiology and treatment of low back pain.	Journal of Orthopaedic Research,201805,36-(5),1305-1312	Original Article
122	Daisuke Sakai	医学部医学科外科学系整形外科学	Implantation of hyaluronic acid hydrogel prevents the pain phenotype in a rat model of intervertebral disc injury	Science Advances,201804,4-(4),eaq0597	Original Article
123	Masato Sato	医学部医学科外科学系整形外科学	Intra-articular administration of EP2 enhances the articular cartilage repair in a rabbit model	J Tissue Eng Regen Med,201811,12(11),2179-2187	Original Article
124	Kosuke Hamahashi	医学部医学科外科学系整形外科学	Clinical outcomes of intramedullary nailing of femoral shaft fractures with third fragments: a retrospective analysis of risk factors for delayed union	Trauma surgery & acute care open,201903,4卷1号,e000203. doi: 10.1136/tsaco-2018-000203	Original Article
125	Mariko Watanabe	医学部医学科外科学系麻醉科学	Protein malnutrition prevents heat conservation induced by amino acid infusion during general anesthesia in rats	Nutrition Reserch,201805,Vol.65,P.79-88	Original Article
126	Hideki Izumi	医学部医学科外科学系消化器外科学	Internal biliary drainage for isolated posterior segmental biliary obstruction: a case report.	J Med Case Rep,201806,156,1699-7	Original Article

計 10件

127	Tooru Morioka	医学部医学科外科学系乳腺・内分泌外科学	Comparison of Ki-67 labeling index measurements using digital image analysis and scoring by pathologists	Breast Cancer,201811,25(6),768-777	Original Article
128	Hiroyuki Otsuka	医学部医学科外科学系救命救急医学	Current strategy for hollow viscus injury with active bleeding: A case report.	SAGE Open Medical Case Reports,201901,7,1-5	Original Article
129	Jun Koizumi	医学部医学科専門診療学系画像診断学	Utility of a 3D Roadmap During Balloon-occluded Retrograde Transvenous Obliteration for Gastric Varices.	Tokai J Exp Clin Med.,201804,43(1),14-18	Original Article
130	Takeshi Hirasawa	医学部医学科専門診療学系産婦人科学	Impact of Adding Bevacizumab to Paclitaxel + Carboplatin for Platinum-Sensitive Recurrent Epithelial Ovarian Cancer: a propensity score matching analysis	東海ジャーナル,201809,Vol.43 No.3 September 20,2018,85-89	Original Article
131	Takeshi Hirasawa	医学部医学科専門診療学系産婦人科学	Recurrent small cell carcinoma of the uterine cervix responding to combined therapy with paclitaxel, cisplatin, and bevacizumab: A case report	東海ジャーナル,201809,Vol.43 No.3 September 20,2018,81-84	Original Article
132	Terumitsu Hasebe	医学部医学科専門診療学系画像診断学	A Stepwise Embolization Strategy for a Bronchial Arterial Aneurysm: Proximal Coil and Distal Glue with the Optional Use of a Microballoon Occlusion System.	Cardiovasc Intervent Radiol,201804,41(8),1267-1273	Original Article
133	Tetsu Niwa	医学部医学科専門診療学系画像診断学	The visibility of the terminal thoracic duct into the venous system using MR thoracic ductography with balanced turbo field echo sequence.	Acad Radiol.,201805(オンライン),doi:10.1016/j.acra.2018.04.00,	Original Article
134	Tetsu Niwa	医学部医学科専門診療学系画像診断学	Clinical significance of new magnetic resonance thoracic ductography before thoracoscopic Esophagectomy for esophageal cancer.	World J Surg.,201806,42,1779-1786	Original Article
135	Toshinari Muramatsu	医学部医学科専門診療学系産婦人科学	Japan Society of Gynecologic Oncology guidelines 2015 for the treatment of vulvar cancer and vaginal cancer	International Journal of Clinical Oncology,201804,23(2),201-234	Original Article
136	Ken Harada	医学部医学科専門診療学系放射線治療科学	Long-term Results of External Beam Radiotherapy for Prostate Cancer with Prostate-specific Antigen of More Than 50 ng/ml and Without Evidence of Lymph Node or Distant Metastasis.	Anticancer research,201804,38(4),2303-2309	Original Article

137	Yoshinobu Nakada	医学部医学科専門診療学系漢方医学	Clinical Reasoning in Kampo Education for Teaching Kampo Beginners	The Tokai journal of experimental and clinical medicine,201807,43,68-73	Original Article
138	Ken Harada	医学部医学科専門診療学系放射線治療科学	Present clinical practices of stereotactic irradiation for metastatic brain tumors in Japan: results of questionnaire survey of the Japanese Radiation Oncology Study Group (JROSG) working subgroup for neurological tumors	International journal of clinical oncology,201807(オンライン), https://doi.org/10.1007/s10147-1-6	Original Article
139	Yutaka Imai	医学部医学科専門診療学系画像診断学	MR Imaging with Apparent Diffusion Coefficient Histogram Analysis: Evaluation of Locally Advanced Rectal Cancer after Chemotherapy and Radiation Therapy	Radiology,201807,288(1),129-137	Original Article
140	Yasuyuki Suzuki	医学部医学科専門診療学系眼科学	Changes in adherence and associated factors among patients on newly introduced prostaglandin analog and timolol fixed-combination therapy	Patient Preference and Adherence,201808,12,1567-1577	Original Article
141	Terumitsu Hasebe	医学部医学科専門診療学系画像診断学	Swine model of in-stent stenosis in the iliac artery evaluating the serial time course	Experimental Animals,201811,Volume 67(4),501-508	Original Article
142	Terumitsu Hasebe	医学部医学科専門診療学系画像診断学	Feasibility and Safety of CT-guided Intrathoracic and Bone Re-biopsy for Non-small Cell Lung Cancer	Anticancer Research,201806,Volume38(6),3587-3592	Original Article
143	Tetsu Niwa	医学部医学科専門診療学系画像診断学	Characteristic phase distribution in the white matter of infants on phase difference enhanced imaging.	J Neuroradiol.,201810(オンライン),doi:10.1016/j.neurad.2018.03.374-379	Original Article
144	Yoshinobu Nakada	医学部医学科専門診療学系漢方医学	The actual conditions of traditional Japanese Kampo education in all the pharmacy schools in Japan: a questionnaire survey after the enforcement of the new national 2015 core curriculum	BMC Complementary and Alternative Medicine,201811,18: 297,1-9	Original Article
145	Tamaki Ichikawa	医学部医学科専門診療学系画像診断学	Aberrant left brachiocephalic vein versus persistent left superior vena cava without bridging vein in adults: evaluation on computed tomography	Annals of vascular diseases,201811,Vol. 11,N0 4,1-7	Original Article
146	Jun Koizumi	医学部医学科専門診療学系画像診断学	Multicenter investigation of the incidence of inferior vena cava filter fracture.	Jpn J Radiol,201808,36(11),661-668	Original Article

計 10件

147	Kenji Yamamoto	医学部医学科専門診療学系精神科学	Effectiveness of outpatient-based group cognitive-behavioral therapy in Japanese patients with mood disorders and neurotic disorders	Archives of Clinical Psychiatry,201810,5(5),107-11	Original Article
148	Shigeto Kabuki	医学部医学科専門診療学系放射線治療科学	Electron-tracking Compton camera imaging of technetium-95m	PLOS ONE,201812,13(12),e0208909	Original Article
149	Fumiyuki Goto	医学部医学科専門診療学系耳鼻咽喉科学	An oral pharyngeal scope for objective oropharyngeal examination: a new device for oropharyngeal study	Acta Otolaryngol,201804,138,487-491	Original Article
150	Fumiyuki Goto	医学部医学科専門診療学系耳鼻咽喉科学	Vocal Hygiene Education Program Reduces Surgical Interventions for Benign Vocal Fold Lesions: A Randomized Controlled Trial.	Laryngoscope,201808,128,2593-2599	Original Article
151	Mikio Mikami	医学部医学科専門診療学系産婦人科学	Quality indicators for cervical cancer care in Japan	Journal of Gynecologic Oncology,201811,29(6),e83	Original Article
152	Atsushi Uchiyama	医学部医学科専門診療学系小児科学	Small for gestational age is a risk factor for the development of delayed thyrotropin elevation in infants weighing less than 2000 g.	Clinical Endocrinology,201810,89,431-436	Original Article
153	Atsushi Uchiyama	医学部医学科専門診療学系小児科学	Necessity and future directions of new treatment criteria for neonatal hyperbilirubinemia.	Pediatrics International,201808,60,682	Original Article
154	Atsushi Uchiyama	医学部医学科専門診療学系小児科学	Persistent pulmonary hypertension of the newborn in extremely preterm infants: a Japanese cohort study.	Arch Dis Child Fetal Neonatal Ed.,201810,103,554-561	Original Article
155	Atsushi Uchiyama	医学部医学科専門診療学系小児科学	Morphological characterization of pulmonary microvascular disease in bronchopulmonary dysplasia caused by hyperoxia in newborn mice.	Med Mol Morphol.,201809,51,166-175	Original Article
156	Kenji Okami	医学部医学科専門診療学系耳鼻咽喉科学	The high expression of FOXA1 is correlated with a favourable prognosis in salivary duct carcinomas: a study of 142 cases.	Histopathology,201809,73,943-952	Original Article
157	Keiji Suzuki	医学部医学科専門診療学系小児科学	Clinical profile and management of patent ductus arteriosus (PDA) in extremely preterm infants in Japan ---A study from the Japanese neonatal database.	Journal of Paediatrics and Child Health,201903,55(S1),104	Original Article

計 11件

158	Terumitsu Hasebe	医学部医学科専門診療学系画像診断学	Micropatterning of a 2-methacryloyloxyethyl phosphorylcholine polymer surface by hydrogenated amorphous carbon thin films for endothelialization and antithrombogenicity.	Acta Biomaterialia,201903,Volume 87, 15 March 2019,187-196	Original Article
159	Terumitsu Hasebe	医学部医学科専門診療学系画像診断学	Radiopaque and biodegradable beads fabricated with Lipiodol and polycaprolactone for transarterial chemoembolization	MRS Advances,201902,Volume 4, Issue 20,1187-1192	Original Article
160	Katsunaka Mikami	医学部医学科専門診療学系精神科学	The advantages of introducing aripiprazole once-monthly 300 mg in the bipolar disorder-II maintenance treatment regime for 2 patients	Asian J Psychiatr,201804,34,11	Original Article
161	Katsunaka Mikami	医学部医学科専門診療学系精神科学	Effect of aripiprazole monotherapy in a patient presenting with delayed sleep phase syndrome associated with depressive symptoms	Psychiatry and Clinical Neurosciences,201805,72(5), 375-376	Original Article
162	Katsunaka Mikami	医学部医学科専門診療学系精神科学	Sudden Onset of Severe Headache with Psychotic Symptoms	Psychiatric Annals,201812,48(12),570-572	Original Article
163	Katsunaka Mikami	医学部医学科専門診療学系精神科学	Efficacy of Mirtazapine on Irritable Bowel Syndrome with Anxiety and Depression: A Case Study	Journal of Nippon Medical School,201812,85(6),330-333	Original Article
164	Katsunaka Mikami	医学部医学科専門診療学系精神科学	The benefits of the concomitant use of antidepressants and acetyl-L-carnitine in the treatment of moderate depression	Asian Journal of Psychiatry,201903,41,84-85	Original Article
165	Hitoshi Ishimoto	医学部医学科専門診療学系産婦人科学	A novel gene (FAM20B encoding glycosaminoglycan xylosylkinase) for neonatal short limb dysplasia resembling Desbuquois dysplasia.	Clinical Genetics,201903(オンライン),doi: 10.1111,cge.13530.	Original Article
166	Hiroko Machida	医学部医学科専門診療学系産婦人科学	Profile of treatment-related complications in women with clinical stage IB-IIIB cervical cancer: A nationwide cohort study in Japan.	PLoS One.,201901,2019 Jan 7;14(1),e0210125	Original Article
167	Hiroko Machida	医学部医学科専門診療学系産婦人科学	Trends and characteristics of epithelial ovarian cancer in Japan between 2002 and 2015: A JSGO-JSOG joint study.	Gynecologic Oncology,201903,2019 Mar 21.,pii: S0090-8258	Original Article
168	Tomohiro Matsumoto	医学部医学科専門診療学系画像診断学	Lymphangiography and Post-lymphangiographic Multidetector CT for Preclinical Lymphatic Interventions in a Rabbit Model.	Cardiovasc Intervent Radiol.,201903,42,448-454	Original Article

169	Mayumi Enseki	医学部医学科専門診療学系小児科学	A breath sound analysis in children with cough variant asthma	Allergology International,201901,68巻1号,33-38	Original Article
170	Takeshi Akiba	医学部医学科専門診療学系放射線治療科学	National survey of myeloablative total body irradiation prior to hematopoietic stem cell transplantation in Japan: survey of the Japanese Radiation Oncology Study Group (JROSG).	Journal of Radiation Research,201807,59(4),477-483	Original Article
171	Tomotaka Mabuchi	医学部医学科専門診療学系皮膚科学	Japanese guidelines for the management and treatment of generalized pustular psoriasis: The new pathogenesis and treatment of GPP.	The Journal of Dermatology,201811,Vol.45 No.11,1235-1270	Original Article
172	Tomotaka Mabuchi	医学部医学科専門診療学系皮膚科学	Long-term efficacy and safety of ixekizumab in Japanese patients with erythrodermic or generalized pustular psoriasis: subgroup analyses of an open-label, phase 3 study (UNCOVER-J).	Journal of the European of Dermatology and Venereology,201902,Vol.33 No.2,325-332	Original Article
					合計172件

計 4件

(注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。

2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)

3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。

4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。

5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名. 出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。

記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)

6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report、Review、Letter、Othersから一つ選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1					Original Article
2					Case report
3					
~					

計 件

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有・無
・ 手順書の主な内容 事務局の設置、責務・業務、委員の構成と指名、開催と採決、運営、審査委員会情報の公表、審査資料、臨床研究等の審査、審査結果の判定区分、迅速審査、委員長・副委員長及び委員の業務、倫理審査委員会事務局の業務、審査結果の通知	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年12回

- (注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。
2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	有・無
・ 規定の主な内容 学校法人東海大学利益相反に関する規程、学校法人東海大学利益相反ポリシー 東海大学伊勢原校舎利益相反マネジメント委員会規程	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年6回

- (注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年3回
・ 研修の主な内容 コンプライアンス及び研究倫理について、外部講師を招き講習会を実施した (湘南校舎以外はTV会議システムで受講)	

- (注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

各研修領域の研修プログラムに沿い、到達目標の達成を目指し、専門医取得に向けた臨床研修を実施。

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数 114 人

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
小澤 秀樹	総合内科	教授	33年	
伊莉 裕二	循環器内科	教授	33年	
吉岡公一郎	循環器内科	教授	33年	
後藤 信哉	循環器内科	教授	33年	
浅野浩一郎	呼吸器内科	教授	34年	
松嶋 成志	消化器内科	教授	34年	
加川 建弘	消化器内科	教授	32年	
鈴木 孝良	消化器内科	教授	30年	
鈴木 秀和	消化器内科	教授	30年	
安藤 潔	血液腫瘍内科	教授	36年	
川田 浩志	血液腫瘍内科	教授	30年	
小川 吉明	血液腫瘍内科	教授	29年	
幸谷 愛	血液腫瘍内科	教授	23年	
瀧澤 俊也	神経内科	教授	38年	
永田栄一郎	神経内科	教授	30年	
深川 雅史	腎内分泌代謝内科	教授	36年	
佐藤 慎二	リウマチ内科	教授	26年	
長 泰則	心臓血管外科	教授	29年	
中村 道郎	移植外科	教授	32年	
小澤 壯治	消化器外科	教授	37年	
中郡 聡夫	消化器外科	教授	36年	
山本聖一郎	消化器外科	教授	28年	
岩崎 正之	呼吸器外科	教授	35年	
河野 光智	呼吸器外科	准教授	26年	
松前 光紀	脳神経外科	教授	37年	
張 漢秀	脳神経外科	教授	36年	
反町 隆俊	脳神経外科	教授	34年	

渡辺 稔彦	小児外科	教授	23年	
新倉 直樹	乳腺内分泌外科	教授	17年	
渡辺 雅彦	整形外科	教授	32年	
佐藤 正人	整形外科	教授	28年	
赤松 正	形成外科	教授	29年	
宮嶋 哲	泌尿器科	教授	29年	
西山 純一	麻酔科	教授	30年	
鈴木 武志	麻酔科	教授	21年	
中川 儀英	救命救急科	教授	32年	
守田 誠司	救命救急科	教授	20年	
金子 明寛	歯科口腔外科	教授	38年	
太田 嘉英	歯科口腔外科	教授	34年	
望月 博之	小児科	教授	38年	
鈴木 啓二	小児科	教授	37年	
内山 温	小児科	教授	29年	
三上 幹男	産婦人科	教授	35年	
石本 人士	産婦人科	教授	32年	
平澤 猛	産婦人科	准教授	27年	
松本 英夫	精神科	教授	36年	
山本 賢司	精神科	教授	29年	
馬淵 智生	皮膚科	教授	20年	
飯田 政弘	耳鼻咽喉科	教授	39年	
大上 研二	耳鼻咽喉科	教授	33年	
濱田 昌史	耳鼻咽喉科	教授	30年	
鈴木 康之	眼科	教授	33年	
正門 由久	リハビリテーション科	教授	37年	
橋本 順	画像診断科	教授	31年	
丹羽 徹	画像診断科	教授	24年	
北原 規	放射線治療科	特任第2種B①教授	40年	
菅原 章友	放射線治療科	教授	22年	
中村 直哉	病理診断科	教授	34年	
宮地 勇人	臨床検査科	教授	37年	

- (注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。
- (注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。
- (注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況 (任意)

【認定静脈注射看護師講習会】

- ・研修の主な内容
静脈注射を単独で施行できる看護師の育成
- ・研修の期間・実施回数
- ・研修の参加人数
1回目：2018年 5月19日 (40名)
2回目：2018年 7月 7日 (40名)
3回目：2019年 1月19日 (38名)

② 業務の管理に関する研修の実施状況 (任意)

【医療チームを動かすリーダーシップ研修】

- ・研修の主な内容
組織におけるリーダーの役割を学ぶ。
現場の業務に潜在している危険を予測する能力を高める
- ・研修の期間・実施回数・研修の参加人数
2018年10月12日 (53名)

【看護単位責任者就任時研修】

- ・研修の主な内容
看護単位責任者の役割、看護管理者としての倫理性
- ・研修の期間・実施回数・研修の参加人数
2019年 3月29日 (2名)

【主任就任時研修】

- ・研修の主な内容
主任としての役割と責任 (看護単位責任者の補佐・代行業務) について学ぶ
- ・研修の期間・実施回数・参加人数
2018年 5月 9日 (4名)

【副主任就任時研修】

・研修の主な内容

副主任の役割と責任、副主任活動について学ぶ

・研修の期間・実施回数・参加人数

2018年 5月22日 (5名)

【看護単位責任者研修（リフレッシュ研修）】

・研修の主な内容

「働き方改革について」働き方改革関連法を知り、働き方改革に向けた取り組みを考える

・研修の期間・実施回数・参加人数

2019年 2月 14日 (36名)

【主任研修（リフレッシュ研修）】

2018年度開催なし

【副主任研修（リフレッシュ研修）】

・研修の主な内容

情報共有を実践し組織を活性化させる

・研修の期間・実施回数・参加人数

2019年 1月23日 (77名)

③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況

・研修の主な内容

・研修の期間・実施回数

・研修の参加人数

2018年 5月18日： 転倒・転落予防 (0名)

2018年 5月25日： 創傷管理 (1名)

2018年 6月29日： ドレーン管理 (1名)

2018年 7月 5日・27日： 褥瘡予防策と経路別 (1名)

2018年 9月14日・21日： 輸血療法 (2日間合計 2名)

2018年 10月26日・31日： 周術期看護 (2日間合計 2名)

2018年 11月12日・21日： 摂食・嚥下障害の看護と訓練技術 (基礎) (2日間合計 8名)

2018年 12月 7日・12日： 心電図の理解と不整脈の見方 (2日間合計 15名)

2019年 1月11日・18日： 呼吸理学療法 (2日間合計 2名)

2018年 6月16日・17日： 緊急度判断 (JTAS/トリアージ)・臨床推論コース (2日間合計12名)

2018年 12月15日・16日： 緊急度判断 (JTAS/トリアージ)・臨床推論コース (2日間合計28名)

2019年2月2日・3日： 緊急度判断（JTAS/トリアージ）・臨床推論コース（2日間合計29名）

2018年10月1日： JTAS認定プロバイダーコース（6名）

2018年7月8日・10月14日・2019年1月20日： 患者急変対応・気づきコース

（3日間合計37名）

2018年9月2日： 気づきインストラクターコース（4名）

2018年6月23日・9月8日・2019年3月9日： JCLSコース（3日間合計24名）

2019年1月12日： 第7回移植患者に関わる看護師のための勉強会（造血幹細胞移植事業）

（参加者84名）

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

(様式第5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画 (2) 現状
管理責任者氏名	渡辺 雅彦 (病院長)
管理担当者氏名	梅澤 博之 (病院事務部長)

		保管場所	管理方法	
診療に関する諸記録	規則第二十二條の三第二項に掲げる事項	病院日誌	伊勢原総務課	
		各科診療日誌	伊勢原総務課	
		処方せん	薬剤部	
		手術記録	診療情報管理課 システムサーバ室	
		看護記録	診療情報管理課 システムサーバ室	
		検査所見記録	診療情報管理課 システムサーバ室	
		エックス線写真	診療情報管理課 システムサーバ室	
		紹介状	診療情報管理課 システムサーバ室	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十二條の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	伊勢原人事課	
		高度の医療の提供の実績	医事課 臨床研修部 伊勢原総務課	
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	大学運営本部大学IR室 伊勢原研究支援課	
		高度の医療の研修の実績	臨床研修部 看護部	
	掲げる事項	規則第一條の十一第一項に	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全対策課
			医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全対策課
			医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全対策課
			医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全対策課

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	院内感染対策室
		院内感染対策のための委員会の開催状況	院内感染対策室
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	院内感染対策室
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	院内感染対策室
		医薬品安全管理責任者の配置状況	医薬品安全管理室
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部 医薬品安全管理室
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部 医薬品安全管理室
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部 医薬品安全管理室
		医療機器安全管理責任者の配置状況	医療機器安全管理室
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療機器整備室
	医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医療機器安全管理室	
	医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療安全対策課	

冊子・書類保管ならびに

データベース管理

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第二項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	医療安全対策課
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	院内感染対策室
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	医薬品安全管理室
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	診療情報管理課
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	診療情報管理課
		医療安全管理部門の設置状況	医療安全対策課
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	医療監査部
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	医薬品安全管理室
		監査委員会の設置状況	医療監査部
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医療安全対策課
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医療安全対策課
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療安全調査課 総合相談室
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	医療安全対策課
		職員研修の実施状況	医療安全対策課
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	医療監査部 診療技術部
管理者が有する権限に関する状況	経営企画室		
管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	経営企画室		
開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	経営企画室		

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

診療に関する諸記録 (現物)

(手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係わる入院期間の診療経過の要約及び入院診療計画書)

1. 診療記録 (エックス線写真含む) の保管期間 (電子化以前分)

(1) 外来カルテ : 診療の完結の日から5年間とする。

(2) 入院カルテ : 診療の完結の日から5年間とする。

※ただし、次に該当する記録は長期保管対象とする。

- ① 治験症例
- ② 特定生物由来製品使用症例
- ③ 損害賠償請求に関わる症例
- ④ 特定不妊治療費助成事業に関わる症例
- ⑤ 臓器等移植症例
- ⑥ 先天異常症例
- ⑦ B型・C型肝炎症例
- ⑧ 照射録
- ⑨ 産科記録
- ⑩ その他病院長が認めた症例

(3) X線フィルム : 1のただしに規定する長期保管分のみ

2. 診療記録 (電子化以前分) の保管方法

(1) 外来カルテ : 全科1フォルダーの患者ID番号ターミナルディジット分類保管とする。

(2) 入院カルテ : 1入退院毎製本し患者IDターミナルディジット分類による分類保管とする。

(3) X線フィルム : 患者ID番号ターミナルディジット分類による大袋保管とする。

3. 上記の診療に関する諸記録は、外来診療、入院診療、医学研究等を目的として診療情報管理課閲覧室以外の院内場所へ借り出すことができるが、院外へ持ち出すことはできない。

以上

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画 ②. 現状
閲覧責任者氏名	梅澤博之（病院事務部長），佐藤 梢（診療情報管理課長）
閲覧担当者氏名	佐藤 梢（診療情報管理課長），深澤光也（伊勢原総務課長）
閲覧の求めに応じる場所	会議室，診療録閲覧室，診療録開示室等
閲覧の手続の概要	
<p>公的監査における診療録の閲覧については、指定を受けた記録について、該当記録・書類を紙出力し、病院職員立会いの下開示する。カルテレビュー形式で閲覧する場合は、情報システム課に依頼し、会議室に電子カルテ閲覧の環境を設置する。病院職員が操作し、指定の記録あるいは診療内容について開示する。</p> <p>医療スタッフの閲覧については「診療記録・情報管理規程」に基づき手続きを行う。</p> <p>患者側からの個人情報開示の請求があった場合は、「個人情報開示・訂正等運用細則」に基づき手続きを行う。</p>	

(注)既に医療法施行規則第 9 条の 20 第 5 号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0 件
閲覧者別	医 師	延 1,541 件
	歯 科 医 師	延 0 件
	国	延 0 件
	地方公共団体	延 4 件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <p>1. 当院における安全管理に関する基本的考え方 私たち教職員は、全ての行為に対して常に適度な緊張感を持ち、危機管理意識を維持し、安全な医療サービスを提供できるよう努める。</p> <p>2. 医療安全管理委員会および当院の組織に関する基本的事項 (1) 医療に係る医療安全管理体制の確保及び推進を図るため、医療安全管理委員会を設置し、医療安全管理委員会の総括の下に、特定な事項を検討するため、各種の委員会を置き、詳細な運用に関しては別に定める。 また、院内感染対策、医薬品、医療機器、診療記録等、高難度新規医療技術、未承認新規医薬品等の安全管理体制の確保については、院内感染防止対策委員会、医薬品安全管理委員会、医療機器安全管理委員会、診療記録等監査委員会、高難度新規医療技術評価委員会、未承認新規医薬品等評価委員会と連携する。 (2) 医療に係る安全管理を行う部門として、医療監査部（医療安全対策課・医療安全調査課・院内感染対策室・放射線治療品質管理室・医薬品安全管理室・臨床研究監査室・医療機器安全管理室）を置く。 (3) 副院長（医療安全担当）を医療安全管理責任者として配置し、医療監査部、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者を統括する。 (4) 医療安全に係る企画立案・評価・職員の安全管理に関する意識の向上等組織横断的に指導するため専従医療安全管理者（看護師）及び医療安全専従薬剤師を医療安全対策課及び医薬品安全管理室に配置する。</p> <p>3. 職員に対する医療に係る安全管理のための研修に関する基本方針 職員に対する医療に係る安全管理のための研修を「医療安全・感染防止セミナー」と位置づけ全教職員に対して、以下の研修を実施し、研修実施後の学習効果測定を実施する。 なお、新規採用者、異動者、出向終了者、育児休業・産休から復帰した者及び臨床研修医に対する研修は別途実施する。 (1) 医療安全に関する事項 (2) 感染防止対策に関する事項 (3) 医薬品関連に関する事項 (4) 医療機器関連に関する事項 (5) 高難度新規医療技術、未承認新規医薬品等に関する事項 (6) 相互立入り、監査委員会からの意見に関する事項 (7) その他重大な事象が発生した事項</p> <p>4. 当院における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針 (1) インシデント／アクシデント・合併症が発生した場合は、速やかにインシデント情報登録システム（EMI）に必要事項を入力し、医療監査部へレポートを提出する。提出されたレポートが診療録及び看護記録に基づき記載されているかを専従医療安全管理者が検証する。 (2) 医療監査部で検証・分析したアクシデント（レベル3b以上）事例、合併症事例について病院長へ速やかに報告し、医療安全管理委員会にて検討する。 (3) 重要と思われるレポートについては、レポート・事例検討会で検証し、医療安全管理委員会に諮る。さらに、対策が必要な事象については、RCA（根本原因分析）或いは調査委員会にて検証する。</p> <p>5. 医療事故等発生時の対応に関する基本方針 当該者の健康回復に全力を尽くすことを優先し、可及的速やかに上司に連絡し指導を仰ぎ、必要に応じて院内に緊急情報を発信し処置を行なう十分な人員を確保する。 その後、当該者や家族に説明する際は、言い訳や憶測を避け、事故の事実関係をできるだけ</p>	

わかりやすく、正確に説明する。さらに、重要事象は、原則として24時間以内に事故調査委員会を立ちあげ、事実関係をできるだけ正確かつ時系列に整理する。

6. 医療従事者と患者との間の情報共有に関する基本方針

(患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針を含む)

医療安全対策マニュアルは、当院のホームページ及び病院情報システム端末に掲載し、いつでも情報が取得できる環境を構築し公開する。

また、患者からの医療の安全管理及び安全対策等についての質問等があれば積極的に情報を開示する。

7. 患者からの相談への対応に関する基本方針

患者・家族からの相談に適切に応じる体制を確保するために、総合相談室に相談窓口を設置し、安全管理体制の確保について、関係部署に改善等の指導をする。

8. その他医療安全の推進のために必要な基本方針

- (1) 各部署にリスクマネージャーを配置し、医療安全管理委員会で決定した医療安全に係る事項を所属員へ周知させる。
また、安全情報としてセイフティ・トピックスの発行並びに各種ガイドラインの策定を行い教職員に周知する。
- (2) 病院の医療安全管理業務が病院長の下で、適切に実施されているか等について、東海大学医学部附属病院医療安全管理業務監査委員会による監査を受ける。
- (3) 高難度新規医療技術の提供、未承認新規医薬品等を用いた医療の提供の適否等を決定する部門を医療監査部内に置き、その適否については、関係学会から示される「高難度新規医療技術の導入を検討するに当たっての基本的な考え方」やガイドライン等を参考に高難度新規医療技術評価委員会、未承認新規医薬品等評価委員会の要綱に基づき審査し、病院長が決定する。
- (4) 他の特定機能病院の管理者との連携による相互立入りを実施し、技術的助言等を受ける。

② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況

- ・ 設置の有無 (有 ・ 無)
- ・ 開催状況：年 12 回
- ・ 活動の主な内容：

1. 委員構成 (委員：34名、事務局：3名、オブザーバー：2名)

医療監査部長 (委員長)、医療安全専従医師、専任医療安全管理者、医療監査部次長、院内感染対策室、専任院内感染対策責任者、放射線治療品質管理室、医薬品安全管理室、医薬品安全管理責任者、医療安全専任薬剤師、臨床研究監査室、医療機器安全管理室、医療機器安全管理責任者、医師 (内科学系・外科学系・専門診療学系)、臨床研修部、診療技術部、薬剤部、看護部、褥瘡対策委員会委員長、事務 (伊勢原総務課、伊勢原用度管理課、医療安全調査課、医事課、診療情報管理課)

2. 医療安全管理委員会の開催状況

実施：平成30年4月10日、平成30年5月14日、平成30年6月11日、平成30年7月9日、平成30年8月13日、平成30年9月10日、平成30年10月9日、平成30年11月12日、平成30年12月10日、平成31年1月8日、平成31年2月12日、平成31年3月11日

3. 主な内容

- (1) 提出されたインシデント／アクシデントレポートの検討
- (2) 医療に係る医療安全の諸規程の整備
- (3) 重大な問題が発生した事象に対する事故調査委員会の設置
- (4) 重要な対策が必要な事象に対する「RCA (根本原因分析) 検討会」の実施
- (5) 医療安全・感染防止セミナーの企画、実施及びセイフティ・トピックスの発行
- (6) 職員研修実施後の学習効果測定の実施
- (7) 医療安全対策チーム設置の検討

- (8) 東海大学医学部付属病院群への医療安全に関する周知事項の審議
- (9) リスクマネージャー会で検討する事項の審議及びリスクマネージャー会の実施
- (10) 医療安全対策マニュアル及び医療安全基本マニュアル（携帯版）の策定
- (11) 医療安全月間の企画
- (12) 院内感染防止対策委員会、医薬品安全管理委員会、医療機器安全管理委員会、診療記録等監査委員会、高難度新規医療技術評価委員会、未承認新規医薬品等評価委員会で策定される、院内感染対策、医薬品、医療機器、診療記録等、高難度新規医療技術、未承認新規医薬品等の安全管理体制について連携する。
- (13) 厚生労働省への提出事象の分類
- (14) 厚生労働省への医療機器に関する提言事象の抽出
- (15) 前各号に掲げたもののほか委員長が必要と認めた事項

③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況

年 10 回

・ 研修の内容（すべて）：

医療安全・感染防止セミナー：全10回
 (DVD視聴による医療安全・感染防止セミナー：全70回)

・ 研修の内容（すべて）：

1. 第1回医療安全・感染防止セミナー（医療安全の日セミナー）：平成30年4月9日
 「あなたの“振る舞い”が患者を救うーノンテクニカルスキルの重要性ー」
 「抗菌薬耐性菌対策の新たなステップ：抗菌薬適正使用支援加算に向けて」
2. 第2回医療安全・感染防止セミナー：平成30年5月11日
 「薬剤耐性 A. baumannii のアウトブレイクについて」
 「食物禁忌アレルギー情報について」
 「入院中のインスリン療法を用いた血糖管理」
3. 第3回医療安全・感染防止セミナー：平成30年6月5日
 「医療用麻薬 最近のトピックス」
 「2017年度インシデント/アクシデントのまとめ」
4. 第4回医療安全・感染防止セミナー：平成30年7月4日
 「結核接触者健診について」
 「認知症の人とチューブ類自己抜去の関係～認知症ケアサポートチームの活動紹介～」
5. 第5回医療安全・感染防止セミナー：平成30年9月7日
 「リハビリテーション技術科の感染対策」
 「診療記録の記載と監査体制について」
 「医療機器の正しい使い方」
6. 第6回医療安全・感染防止セミナー：平成30年10月3日
 「確実な指示出し・指示受けを行いましょー！」
 「抗菌薬の適正使用と支援活動～血流細菌感染対策～」
7. 第7回医療安全・感染防止セミナー：平成30年11月6日
 「細菌検査薬剤感受性パネルの更新に伴う変更点について」
 「医療安全って誰のため？」
8. 第8回医療安全・感染防止セミナー：平成31年1月9日
 「周術期予防抗菌薬に経口抗菌薬は必要か？」
 「当院の褥瘡の現状と対策」
 「CRPS防止・対応マニュアルの改訂について」
9. 第9回医療安全・感染防止セミナー：平成31年2月7日
 「インフルエンザ流行時の取り決め」
 「個人情報の取り扱いについて」
 「医療ガスの安全な使用」
10. 第10回医療安全・感染防止セミナー：平成31年3月4日
 「吐水口の清掃～見えない所に潜む畏～」
 「悪質クレマーへの対応」
 「医療従事者における喫煙対策～最近の話題とこれからのこと～」

「2018年度医療安全対策のまとめ」

④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況

- ・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有 ・ 無)
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：

1. 各年度のレポート報告提出枚数

1) 平成28年度：5,818枚 2) 平成29年度：5,785枚 平成30年度：5,663枚

2. 発生した事故等の医療安全管理委員会への報告

インシデント／アクシデント・合併症レポートは専任医療安全管理者がレポート取り扱い基準に従ってレポート内容の確認を行い、月別アクシデント・合併症レポート一覧表を作成している。医療監査部で一覧表事例の分析及び検証を行い、結果について医療安全管理委員会へ報告を行っている。また、アクシデント（レベル3b以上）・合併症事例、重大事象につながりそうな事例は病院長へ速やかに報告し対応を検討、特に重要な事象はレポート・事例検討会に諮り、レポート・事例検討会で検討された対策案等を医療安全管理委員会へ具申している。

3. 事故等の収集・分析による組織としての改善策の企画立案及びその実施状況の評価と情報の共有

- (1) 月別にインシデント／アクシデントレポートを各事象（CV関連、気道関連、ドレーン関連、化学療法関連、医療機器関連、転倒・転落関連、医薬品関連）ごとに統計・解析し、医療安全管理委員会でも審議し病院運営会議に諮り、各種会議体（診療科長会、診療協議会、RM会議）、セミナー等で注意を喚起している。
- (2) レポート・事例検討会で提案された対策案等を医療安全管理委員会で審議し、さらに検討・対策が必要な事象は、根本原因分析（RCA）、各分野の医療安全対策チーム（気道安全管理・CVC・ドレーン、チューブ類・転倒転落・肺血栓塞栓症・抗凝固剤・予期せぬ急変・救急カート運用・身体抑制/自己抜去防止・患者誤認）で対策案等を検討している。
- (3) 上記で検討された対策案等は、各種会議体（病院運営会議、診療科長会、診療協議会）、RM会議、セミナー、セイフティ・トピックス等で周知している。

4. 重大医療事故発生時の病院管理者への報告及び再発防止策（背景要因・根本原因分析）

- (1) 重大な医療事故が発生した場合は、手順に従い、速やかに病院長に報告する。また、インシデント／アクシデントレポートとは別に、時系列の報告書（事例報告書）を24時間以内に提出させ、病院長へ報告している。
- (2) 事象に応じて、根本原因分析（RCA）、事故調査委員会、事故検証委員会、事故外部評価委員会を立ち上げ、再発防止策を講ずる。

5. 診療記録等監査

診療記録等の記載から医療過程においてどのような影響があったか、診療記録等監査委員会で検証している。診療記録等監査委員会の統括の下に、インフォームド・コンセント記載状況確認分科会、診療記録等記載状況確認分科会を置き、活動報告を受け、適切なインフォームド・コンセント及び診療記録等の記載実施について協議し、必要に応じて医療安全管理委員会へ報告を行っている。

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第 1 条の 11 第 2 項第 1 号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <p>院内感染対策のための指針 2007 年 7 月 1 日策定、2009 年 8 月 31 日改訂、2014 年 5 月 20 日改訂、2018 年 4 月 17 日改訂</p> <p>以下の 7 項目は、平成 19 年 4 月 1 日付で公布された医療法施行規則改正に基づいている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 院内感染対策に関する基本的考え方 2. 院内感染対策のための委員会その他の組織に関する基本事項 院内感染防止対策委員会、院内感染対策チーム (ICT) ・抗菌薬適正使用支援チーム、 院内感染対策チーム (ICT) ラウンド、リンクナース・リンクドクター 3. 院内感染対策のための従事者に対する研修に関する基本方針 4. 感染症の発生状況の報告に関する基本方針 5. 院内感染発生時の対応に関する基本方針 6. 患者に対する当該指針の閲覧に関する基本指針 7. その他の医療機関内における院内感染対策の推進のための必要な基本方針 	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 12 回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 委員の構成 (委員： 23 名) 病院長、医療監査部長、看護部長、薬剤部長、事務部長、臨床検査科長、院内感染対策室長、 中央手術室・中央滅菌材料室長、栄養支援センター長、感染症対策に関し担当の経験を有する医師、 ほか委員長が必要と認めた関係者 2. 主な内容 <ol style="list-style-type: none"> (1) 感染症の地域流行などの感染症情報の把握と提供に関すること。 (2) 院内感染発生の監視・疫学調査および情報の提供に関すること。(細菌培養・薬剤感受性などの情報) (3) 感染症発生の届出に関する業務およびその情報の保管に関すること。 (4) 病院環境汚染の把握、医薬品や医療機器汚染の監視・指導に関すること。 (5) 抗菌薬・消毒薬の使用状況の把握・適正使用の指導に関すること。 (6) 院内の感染対策や感染制御の立案・実行・評価に関すること。(院内感染防止対策マニュアル) (7) 感染対策全般に関するコンサルテーションや指導・教育に関すること。 (8) 院内感染防止対策に係る経費算定・管理に関すること。 (9) その他、病院長の指示する業務、あるいは委員会決定事項の遂行に関すること。 	

<p>3. 院内感染防止対策委員会開催状況（平成 30 年度） 平成 30 年 4 月 17 日、平成 30 年 5 月 15 日、平成 30 年 6 月 19 日、平成 30 年 7 月 17 日、 平成 30 年 8 月 21 日、平成 30 年 9 月 18 日、平成 30 年 10 月 16 日、平成 30 年 11 月 20 日、 平成 30 年 12 月 18 日、平成 31 年 1 月 15 日、平成 31 年 2 月 19 日、平成 31 年 3 月 19 日</p>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 120 回
<p>・ 研修の内容（すべて）：</p> <p>【医療安全・感染防止セミナー：全 10 回】 【DVD 視聴による医療安全・感染防止セミナー：全 70 回】</p> <p>・ 受講内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 平成 30 年 4 月 9 日「抗菌薬耐性菌対策の新たなステップ：抗菌薬適正使用支援加算に向けて」 平成 30 年 5 月 11 日「薬剤耐性アシネトバクターアウトブレイクについて」 平成 30 年 6 月 5 日「抗菌薬適正使用支援チーム活動の紹介」 平成 30 年 7 月 4 日「結核接触者健診について」 平成 30 年 9 月 7 日「リハビリテーション技術科の感染対策」 平成 30 年 10 月 3 日「抗菌薬適正使用と支援活動～血流細菌感染対策～」 平成 30 年 11 月 6 日「細菌検査薬剤感受性パネル更新に伴い変更点について」 平成 31 年 1 月 9 日「周術期予防抗菌薬に経口抗菌薬は必要か」 平成 31 年 2 月 8 日「インフルエンザ流行時の取り決め」 平成 31 年 3 月 7 日「吐水口の清掃～見えない所に潜む畏～」 <p>【職業別教育実績：全 40 回】</p> <p>・ 新人オリエンテーション・研修医対象クルズス・清掃業者対象セミナー・看護師中途採用者オリエンテーション・看護助手レクチャー、各部署対象感染対策レクチャーなど</p>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 （ <input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無 ）</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 病院における発生状況の報告等の整備 <ol style="list-style-type: none"> 感染症の院内における発生を迅速に把握できる方法を確認し、院内感染を未然に防ぐ、または蔓延を防止するために、リアルタイムに対策を立てられるようにする。 感染症の発生の報告は、主治医および病棟医長・病棟看護責任者から感染症患者発生報告書にて、院内感染対策室を経由して、病院長に提出される。 「感染症法」に規定される届出は最寄りの保健所長を経由して都道府県知事に届け出る。 その他の改善のための方策の主な内容 <p>耐性菌発生時の病棟別、診療科別動向調査を行い、薬剤使用状況との解析による各部署へのフィードバック、さらに担当医に対するコンサルテーションや病棟ラウンドによる感染防止対策。</p> 	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 50 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>(1) 全職員に対する講義、医療安全・感染防止セミナー 「入院中のインスリン療法を用いた血糖管理」 2018年5月11日 「医療用麻薬 最近のトピックス」 2018年6月5日 「確実な指示出し・指示受けを行いましょう！」 2018年10月3日</p> <p>(2) 全職員向けE-Learning「医療安全研修に関わる基礎知識」 年2回実施</p> <p>(3) リスクマネージャーに対する講義、リスクマネージャー会 麻薬管理～誤廃棄・返却忘れを防ぐために～ 2018年7月20日</p> <p>(4) 医師に対する講義 全臨床助手・臨床研修医（麻薬・向精神薬・筋弛緩剤（毒薬）の取り扱いと薬剤部門の業務） 2018年4月3日 麻酔科研修医（中央手術室における重点管理薬品の管理について） 2018年4月7日、6月2日、8月4日、10月6日、12月1日、2019年2月2日 救命救急科研修医（救命救急センターにおける麻薬・筋弛緩薬・向精神薬の管理） 毎月1回（月初め）</p> <p>(5) 新人看護師に対する講義 看護部新人研修（医薬品の安全管理） 2018年4月21日 中央手術室（医薬品の管理・運用について） 2018年8月29日 6A・MFICU病棟（妊婦・授乳婦の薬物療法について） 2018年10月9日 9A病棟（病棟薬剤業務について） 2018年4月12日 10A病棟（病棟薬剤業務について） 2018年4月12日 11A・B病棟（病棟薬剤業務について） 2018年4月11日</p> <p>(6) 新規採用者《医師以外》に対する講義 医薬品の安全管理について 2018年4月3日</p> <p>(7) 診療技術部に対する講義 抗菌薬適正使用支援チームでの活動報告、癌関連チームの活動報告 2018年11月15日 腎・透析センター勉強会 臨床工学技術科対象 （透析時の薬物療法・TDMについて） 2019年1月17日</p> <p>(8) 看護師に対する講義 6B病棟（持続インスリン調製方法について） 2018年5月16・17・19日 （トレスーバ注ペンフィルについて） 2019年1月11日 NICU・GCU病棟（クリーンベンチの使用方法について） 2018年11月14・17・19日 2019年1月 7B病棟（麻薬・筋弛緩薬・向精神薬の管理について） 2018年4月16日 （排便調節薬等について） 2019年1月 9A病棟（抗菌薬について） 2018年8月9・23日 11A病棟（11A病棟における化学療法について） 2018年8月24日 2018年10月19日 13A病棟（バンコマイシン塩酸塩点滴静注用について） 2018年9月7日 （モルペス細粒の経管投与方法について） 2018年11月1日</p>	

③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況

- ・ 手順書の作成 (有 ・ 無)
- ・ 手順書の内訳に基づく業務の主な内容 :

- (1) 医薬品の採用審査に伴う薬事委員会への関与 (月1回)
- (2) 医薬品集作成 (年1回)
- (3) 病棟・外来に定数保管されている医薬品の保管状況及び品質管理 (年3回)
- (4) 医薬品情報の収集・管理・周知
周知した医薬品情報について医薬品安全管理委員会 (月1回開催) に報告し周知状況を確認
- (5) 未承認・適応外・禁忌等に該当する処方に関する情報
使用状況について医薬品安全管理委員会 (月1回開催) に報告
- (6) 医薬品安全使用のための業務手順書の遵守状況の確認
手順書の遵守状況について病棟専任薬剤師によるチェックシートを用いた確認
医薬品安全管理室による医薬品安全ラウンドの実施

④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況

- ・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有 ・ 無)
- ・ 未承認等の医薬品の具体的な使用事例 (あれば) :

【未承認】

Roaccutaneカプセル：造血幹細胞移植後の予後不良な進行神経芽腫

【適応外】

ジアグノグリーン注：肝切除術時の蛍光マーカー

アザニン錠：視神経脊髄炎

ハイボン錠：グルタル酸血症2型

- ・ その他の改善のための方策の主な内容 :

- ・ 医薬品の使用に係る安全管理体制の確保を図るため、医薬品安全管理責任者を委員長とし、医師、看護師、薬剤師から構成される医薬品安全管理委員会を開催 (月1回)
- ・ 薬剤師は内服・注射調剤、病棟業務等において未承認・適応外・禁忌医薬品の使用を把握した場合は、院内の情報端末にデータを登録する
- ・ 医薬品安全管理室は未承認・適応外・禁忌医薬品の使用状況を把握・管理し、医薬品安全管理委員会 (月1回) へ報告する

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	○有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 153回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： ・ 第5回 医療安全・感染防止セミナー：2018年9月7日 584名 「医療機器の正しい使い方」 ・ 医療機器の取扱い研修（病棟・各部門等） 人工呼吸器，除細動器，PCPS，IABP，保育器，輸液・シリンジポンプ，患者体温管理装置 生体監視モニター関連、その他 	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機器に係る計画の策定 (○有・無) ・ 機器ごとの保守点検の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1) 人工心肺装置及び補助循環装置：年1回実施 2) 人工呼吸器：年2回実施 3) 血液浄化装置：年2回実施 4) 除細動装置：年1回実施 5) 閉鎖式保育器：年1回実施 6) 診療用高エネルギー放射線発生装置：年4回実施 7) 診療用放射線照射装置：年2回実施 <p>点検内容：動作確認、精度確認、摩耗・損耗確認、安全機構確認</p>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (○有・無) ・ 未承認等の医療機器の具体的な使用事例（あれば）： ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1) 医療機器使用時における禁忌情報を「医療安全基本マニュアル（携帯版）」に掲載。 2) 医療機器の安全管理を推進するために、毎月1～2病棟において医療機器に関するラウンドを行い、機器の管理や使用方法の確認、医療機器に関する情報提供（モニターアラーム解析）医療機器に関する相談などを行っている。 3) 医療機器に関するインシデント・アクシデント事例の調査及び改善。 4) 医療機器安全管理委員会にて、医療機器全般の不具合，安全使用，管理方法等について検討を行っている。 	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	有・無
<p>・責任者の資格（医師・歯科医師） ・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況</p> <p>医療監査部を設置し、医療安全担当副院長／医療監査部長が医療安全管理責任者として配置。医療安全管理委員会は、医療監査部長が委員を務め、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者は委員となり、委員会にて活動報告を求めている。</p>	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有（5名）・無
<p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <p>・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況</p> <p>医薬品に関する情報の収集・整理・周知に関する業務は薬剤部薬剤科DI係が行う</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 医薬品の添付文書の情報のほか、医薬品製造業者、行政機関（PMDA等）、学術誌等から情報を広く収集し整理する (2) 院内で発生した医薬品に係わる副作用情報を積極的に収集し、評価するとともに一元的に管理する (3) 医薬品に関する情報の周知は薬剤部薬剤科DI係より、各部門、各職種へ病院情報システム、紙媒体などを通じて迅速に提供・周知を行う (4) 医薬品安全性情報等のうち、迅速な対応が必要となるものを把握した際は、当該医薬品を処方した医師及び投与された患者を速やかに特定し、必要な措置を迅速に講じる (5) 薬剤部薬剤科DI係より発信された情報は院内ポータル掲示板にて常時閲覧可能とする (6) 病棟専任薬剤師と薬剤部薬剤科DI係の薬剤師が必要に応じカンファレンス等を行い病棟専任薬剤師が病棟薬剤業務を実施するにつき必要な情報を提供する (7) 医薬品安全管理責任者は、医薬品安全管理委員会（月1回開催）に薬剤部薬剤科DI係より報告された医薬品情報および副作用情報の周知状況の確認を行う <p>（前年度実績）</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 薬事委員会採用情報 9回 (2) 薬事委員会試用情報 10回 (3) 薬事委員会採用中止情報 10回 (4) 「効能効果」「用法用量」の追加・変更情報 7回 (5) 医薬品・医療機器等安全性情報 9回 (6) 医療安全情報 13回 (7) 医薬品回収・品薄情報 40回 (8) DIニュース 30回 (9) 副作用関連情報（院内副作用報告一覧） 11回 (10) その他（販売中止、包装変更、オーダー停止、オーダー開始など） 8回 <p>・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・薬剤部薬剤科DI係は、未承認・適応外・禁忌等に該当する処方に関する情報について、医師や病棟薬剤師等より収集し使用状況の把握を行い、得られた情報について医療安全専従薬剤師と共有を図る。 ・医療安全専従薬剤師は、添付文書、インタビューフォーム等の製薬企業からの情報、 	

行政からの情報、最新のガイドライン、国内外の論文等を参照し、有効性や安全性に関する情報を収集し、医薬品安全管理委員会に報告を行う。

- ・ 医薬品安全管理委員会において報告された事例について「未承認等の医薬品の使用」として医療安全管理委員会に報告し、必要に応じて臨床研究審査委員会等に審査依頼を行う。
- ・ 未承認新規医薬品等の申請は医薬品安全管理室または医療機器安全管理室に行う。
- ・ 医薬品安全管理責任者は、未承認等の医薬品に関し、その使用状況の周知を行う。

・ 担当者の指名の有無 (有)・無)

・ 担当者の所属・職種：

(所属： 薬剤部薬剤科 医療監査部医薬品安全管理室付 ， 職種 薬剤師)

(所属： ， 職種) (所属： ， 職種)

(所属： ， 職種) (所属： ， 職種)

(所属： ， 職種) (所属： ， 職種)

④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況

(有)・無

・ 医療の担い手が説明を行う際と同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 (有)・無)

・ 説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容

：インフォームド・コンセント（以下IC）記載状況確認分科会を定期的に開催し、テーマを決めて検証を行っている。IC用紙の記載不備の点検結果を科別に集計し、診療科長会にて周知・指導を行っている他、今期は次の点について「診療記録等監査委員会」に報告し、周知・指導を行った。

① 監査時に不備を発見したIC用紙について、該当部署・委員会等へ改善依頼を行ない、新規作成・差替えをした。

- ・ ヘリコバクター・ピロリ菌除菌
- ・ 内視鏡検査（ERCP）及び関連手術
- ・ 内視鏡下消化管異物除去術（上部消化管及び消化管内視鏡検査のIC用紙に説明追加）
- ・ 化学療法
- ・ 手術室以外で行う中心静脈カテーテル挿入術のIC取得徹底
- ・ ビグアナイド系糖尿病薬の中断・継続（既存6種類の造影検査IC用紙にも文言追加）

② 病状説明書を用いたIC取得の普及について、文書を配布し周知するとともに、勤務医マニュアルへも追加を行った。

③ 抗凝固薬・抗血小板薬の中断・継続のIC取得徹底について指導・周知した。

④ IC運用管理規程について、セカンドオピニオンの項目を追加し、勤務医マニュアルへも追加を行った。

⑤ 手術室以外で実施する中心静脈カテーテル挿入術について、IC取得漏れが認められた診療科に指導した。

⑥ 未承認薬を使用する医療行為のICについて、未承認新規医薬品等評価委員会へ申請いただき、承認後にIC用紙を作成するよう依頼した。

⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	有・無
<p>・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 診療録等の記載状況を日々確認（質的点検）し、記載不備の記録については、その都度記載医に訂正を求めている。 2. 診療記録等記載状況確認分科会を定期的に行い、テーマを決めて検証を行っている。 2018年度より、監査委員に診療部の医師を追加した。 3. 今期は「7日以内緊急再入院症例」「2SD超過退院症例」「クリニカルパス症例」「外来手術症例」をテーマとして横断的監査を行い、以下の内容について指摘し、改善・周知を求めた。 <ol style="list-style-type: none"> ① 死亡診断書の死因について、記載ルールに則り記載する。 ② 外来手術について、記載要領を指導し、督促点検体制を強化する。 ③ クリニカルパス委員会へ、パスのシステム運用及び診療録記載不備について、指導するよう依頼。 ④ 説明・同意書の内容不備について、インフォームド・コンセント記載状況確認分科会へ検証及び指導いただくよう依頼。 4. 検証結果については診療記録等監査委員会に報告し、全科に共通する事項については、医療安全セミナー、診療協議会、診療科長会等において周知・指導を行った。 	
⑥ 医療安全管理部門の設置状況	有・無
<p>・所属職員：専従（7）名、専任（3）名、兼任（6）名</p> <p>うち医師：専従（0）名、専任（2）名、兼任（5）名</p> <p>うち薬剤師：専従（2）名、専任（0）名、兼任（0）名</p> <p>うち看護師：専従（2）名、専任（0）名、兼任（0）名</p> <p>※薬剤師、看護師の専従は2016年4月1日付で整備済み</p> <p>※医師の専従については</p> <p>2018年4月1日付で就業時間5割以上を当該業務に従事する者を2名配置</p> <p>2020年4月1日に就業時間8割以上を当該業務に従事する者を1名配置</p> <p>（注）報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること</p> <p>・活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 医療安全管理委員会の運営に関すること <ol style="list-style-type: none"> ①医療安全管理委員会の資料及び議事録の作成と保存 ②その他医療安全管理委員会の庶務に関すること (2) 医療事故発生時の対応に関すること <ol style="list-style-type: none"> ①事故等に関する診療録や看護記録等への記載が正確かつ十分になされていることの確認及び必要な指導を行う ②患者及び家族への説明など事故発生時の対応状況について確認及び必要な指導を行う ③事故等の原因究明が適切に実施されていることを確認及び必要な指導を行う (3) 安全管理のための職員に対する教育、研修の企画・運営に関すること 	

- (4) 医療に係る安全確保を目的とした改善のための方策に関すること
 - ①インシデント及びアクシデント発生時における情報の収集と分析
 - ②事故予防策、再発予防策の立案・評価及び見直し
- (5) 医療安全に係る連絡調整に関すること
- (6) その他医療安全対策の推進に関すること
- (7) 医療安全に関する官公庁への届出及び報告に関すること
- (8) 診療記録等の監査に関すること

※診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例

- ・ 予定手術開始前 1 時間以内の予防的抗生剤投与割合
- ・ 再手術率（48 時間以内、術後 30 日以内）
- ・ 医原性気胸の発生率
- ・ 術後合併症発生率
- ・ 退院後緊急入院率（2 週間・6 週間・30 日以内）
- ・ 死亡退院患者率

※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。

※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。

⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

- ・ 前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（4 件）、及び許可件数（3 件）
- ・ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（有・無）
- ・ 高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（有・無）
- ・ 活動の主な内容：
 - ・ 診療科の長から申請のあった申請内容を確認し、高難度新規医療技術評価委員会へ当該高難度新規医療技術の提供の適否、実施を認める条件等について意見を求める。
 - ・ 評価委員会が述べた意見を踏まえ、当該高難度新規医療技術の提供の適否等について決定し、申請のあった診療科の長に対しその結果を通知する。
 - ・ 導入後、5 症例程度の手術記録、診療録などの記載内容を当該科の長より報告を求める。
 - ・ 当該高難度新規医療技術が適正な手続きに基づいて提供されていたかどうかに関し、定期的及び術後に患者が死亡した場合、その他必要な場合には、診療録等の記載内容を確認する。
 - ・ 当該高難度新規医療技術が適正な手続きに基づいて提供されていたかどうか、従業者の遵守状況の確認を行う。
 - ・ 医療安全管理委員会と連携する
 - ・ 評価委員会に係る事務
- ・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（有・無）
- ・ 高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（有・無）

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

- ・前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（1件）、及び許可件数（1件）
- ・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（・無）
- ・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（・無）

・活動の主な内容：

- ・未承認新規医薬品等を用いた医療の提供の適否を決定する部門を、医薬品は医薬品安全管理室、医療機器は医療機器安全管理室とし、未承認新規医薬品等を用いた医療提供に関する業務を処理する。
- ・診療科の長は、当該診療科において未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合には、あらかじめ、医薬品安全管理室または医療機器安全管理室に当該未承認新規医薬品等を用いた医療の提供の申請を行う。
- ・医薬品安全管理室または医療機器安全管理室は、診療科の長から申請のあった申請内容を確認するとともに、未承認新規医薬品等評価委員会に対して、当該未承認新規医薬品等の使用の適否、使用条件等について意見を求める。
- ・医薬品安全管理室または医療機器安全管理室は、評価委員会が述べた意見を踏まえ、当該未承認新規医薬品等の提供の適否等について決定し、申請を行った診療科の長に対しその結果を通知する。
- ・医薬品安全管理室または医療機器安全管理室は、当該未承認新規医薬品等が適正な手続きに基づいて使用されていたかどうかに関し、定期的に診療録等の記載内容を確認する。
- ・医薬品安全管理室または医療機器安全管理室は未承認新規医薬品等が適正な手続きに基づいて使用されていたかどうか、従業者の遵守状況の確認を行う。
- ・医薬品安全管理室または医療機器安全管理室は、未承認新規医薬品等の使用の適否等についての結果、及び未承認新規医薬品等規程に定める事項の従業者の遵守状況を病院長に報告する。
- ・医療安全管理委員会と連携する。

- ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（・無）
- ・未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無（・無）

⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

- ・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 781 件
- ・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 133 件

・上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容

- ①診療科からの報告状況の確認及び確認結果の管理者への報告
- ②提出率を示し、報告状況が不十分な場合は、当該科の長を指導

⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

- ・他の特定機能病院等への立入り（**有**（病院名：藤田医科大学病院））・無
- ・他の特定機能病院等からの立入り受入れ（**有**（病院名：藤田医科大学病院））・無
- ・技術的助言の実施状況

【私立医科大学病院感染対策協議会相互ラウンド】平成30年12月21日

【私立医科大学病院医療安全相互ラウンド】平成31年2月21日

1. 防犯カメラ・身分証明書による入室等にて、不審者の侵入防止。
2. アナフィラキシー発生時の対応フローを構築し、院内ルールとしてセイフティ・トピックスを発行し、医療安全対策マニュアルに掲載。
3. 診療情報管理課と協力し、診断結果の診療録への記載について確認するシステムを構築
4. 院内急変対応システム（RRS）運用に基づくRRTの導入開始。
5. 病棟での薬品保管方法について、向精神薬注射薬の単独施錠管理、施錠管理対象薬品の追加（ディプリバン）を行った。
6. ヘパリンNa、ヒューマリン等分割使用中薬品の保管方法について、配置、ラベル表示の統一化を行い、取り間違い防止対策とした。分割使用中の期限遵守と併せて医薬品安全ラウンドで確認している。
7. 非挿管下の鎮静におけるWGを立ち上げ、院内ルールを策定。
8. 汎用性の低い医療機器に対する保守点検の実施及び使用者全員への研修の徹底。医療機器・材料目的外使用の申請、審査する仕組みを構築した。

⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

・体制の確保状況

（患者相談窓口の設置状況）

- ・設置年月日：昭和54年4月1日
- ・窓口の名称：総合相談室
- ・相談に応じる時間帯：月曜日～金曜日；9:00～15:00、土曜日（第2、第4を除く）9:00～12:00
- ・責任者職種：患者支援センター所長／医師
- ・対応職員：患者支援センター総合相談室 社会福祉士

（窓口の活動に関する患者への明示）

- ・明示している場所：各科外来、東海ホール・けやき口掲示板、各病棟
- ・明示内容：活動の趣旨、設置場所、担当者・責任者、対応時間

（窓口の活動に関する規約の整備状況）

- ・規約の整備（平成15年4月1日）

（相談により患者や家族が不利益を受けないような適切な配慮

具体的な配慮の状況

- * プライバシーの保護、匿名での相談及びご意見箱の設置（無記名での投書を可能としている）

(窓口以外の苦情相談の受付方法)

- ・電話、投書箱、インターネット相談の実施

* 電話相談：総合相談室、当該部署で受けた内容を記録用紙或いは任意の用紙に記載している

⑫ 職員研修の実施状況

・研修の実施状況

- ・研修実施後の学習効果測定として e-learning を年 2 回実施
- ・医療安全の日セミナー／RM会

<内容>

4月9日 「あなたの“振る舞い”が患者を救うーノンテクニカルスキルの重要性ー」

9月20日 「2018年度医療安全に関する周知内容」

11月19日 「患者側弁護士における医療訴訟の提訴前調査」、「医療訴訟の概要と概況」

(注) 前年度の実績を記載すること (⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること)

⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・研修の実施状況

管理者：平成 30 年度 特定機能病院管理者研修[継続] (平成 31 年 2 月 6 日)

医療安全管理責任者：平成 30 年度 特定機能病院管理者研修[継続] (平成 30 年 12 月 2 日)

医薬品安全管理責任者：平成 30 年度 特定機能病院管理者研修[継続] (平成 30 年 12 月 2 日)

医療機器安全管理責任者：平成 30 年度 特定機能病院管理者研修[継続] (平成 31 年 2 月 6 日)

(注) 前年度の実績を記載すること (⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること)

規則第7条の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

<p>管理者に必要な資質及び能力に関する基準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基準の主な内容 <ul style="list-style-type: none"> (1) 日本国の医師免許を有する者 (2) 医学教育，学術研究及び診療に関して高い見識を有する者 (3) 本学の建学の精神に深く共鳴して，その具現を積極的に推進しようとする者 (4) 医療安全確保のために必要な資質及び能力を有する者 (5) 病院の管理運営に必要な資質及び能力を有する者 ・ 基準に係る内部規程の公表の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無) ・ 公表の方法 <ul style="list-style-type: none"> 東海大学医学部附属病院ホームページに掲載 (事由発生時)
--

規則第7条の3第1項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

<p>前年度における管理者の選考の実施の有無</p>	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無) ・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無) ・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無) ・ 公表の方法 <ul style="list-style-type: none"> 東海大学医学部附属病院ホームページに掲載 				
<p>管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由</p>				
<p>氏名</p>	<p>所属</p>	<p>委員長 (○を付す)</p>	<p>選定理由</p>	<p>特別の関係</p>
坂部 貢	医学部 学部長	○	「東海大学医学部附属病院病院長候補者の選考規程」の規定に基づき、医学部長は委員長を務める。	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
瀧澤 俊也	医学部医学科内科学系 学系長		「東海大学医学部附属病院病院長候補者の選考規程」の規定に基づき、委員に選出。	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
梅澤 博之	医学部附属病院 病院事務部長		同上	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
小林 幹夫	神奈川県伊勢原市 保健福祉部 部長		「東海大学医学部附属病院病院長候補者の選考規程」の規定に基づき、学校法人東海大学と利害関係のない外部有識者として委員に選出。	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無
須藤 宣弘	一般社団法人 秦野伊勢原医師会 会長		同上	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無

規則第9条の23第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の設置及び運営状況

合議体の設置の有無	(有)・無		
<p>・合議体の主要な審議内容</p> <p>①附属病院の事業計画の企画・立案に関する事項 ②附属病院（含救命救急センター、健診センター）の管理・運営に関する事項 ③附属病院の予算・決算に関する事項 ④附属病院の人事に関する事項 ⑤その他病院長が審議が必要と判断した事項</p> <p>・審議の概要の従業者への周知状況</p> <p>診療科長会（構成員：医師等；各診療科長）、診療協議会（構成員：医師、看護師、技術職員、事務職員；各病棟・部署所属長）での周知報告により、全体周知を図っている。また、必要に応じて病院本部会議、医学部協議会、医学部教授会等で報告するとともに、文書による周知を行っている。</p> <p>・合議体に係る内部規程の公表の有無（(有)・無）</p> <p>・公表の方法</p> <p>法人本部ホームページに「東海大学医学部附属病院運営会議規程」掲載</p> <p>・外部有識者からの意見聴取の有無（有・(無)）</p>			
合議体の委員名簿			
氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
渡辺 雅彦	○	医師	病院長、伊勢原校舎・附属病院副本部長
飯田 政弘		医師	常務理事、伊勢原校舎・附属病院本部長
梅澤 博之		事務職員	伊勢原校舎・附属病院副本部長、 伊勢原経営企画室長、 伊勢原事務部長・病院事務部長
瀧澤 俊也		医師	副学部長（臨床・施設・財務）
小林 広幸		医師	副学部長（研究）、医学研究科長、 治験・臨床研究管理部長
吉岡公一郎		医師	副院長、診療部長
浅野浩一郎		医師	副院長、診療協力部長
岩崎 正之		医師	副院長、中央診療部長

大上 研二		医師	副院長、医療監査部長
小川 吉明		医師	副院長、伊勢原情報システム部長
横田 弘子		看護師	副院長、看護部長、 看護師キャリア支援センター所長
鈴木 秀和		医師	臨床研修部長
安藤 潔		医師	オンコロジーセンター所長
石本 人士		医師	総合周産期母子医療センター所長
鈴木 孝良		医師	患者支援センター所長
中川 儀英		医師	高度救命救急センター所長
川又 郁夫		診療放射線技師	診療技術部長
市川 訓		薬剤師	薬剤部長
今崎 千穂		事務職員	医事課長
深澤 光也		事務職員	伊勢原総務課長
石原 潔		事務職員	伊勢原経営企画室課長

規則第15条の4第1項第1号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・ 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（有・**無**）
- ・ 公表の方法

- ・ 規程の主な内容

病院長について以下のとおり規定している。

- ① 病院に病院長を置く
- ② 病院長は、医療法第10条の規程に則ったものであるとともに、人格が高潔で学識に優れ、かつ、病院の管理・運営に関し識見を有する者とする。
- ③ 病院長は、病院管理者として病院の業務を統括する。
- ④ 病院長は、病院で行われる診療、教育及び研究について、その実施を許可し、実施状況について報告を求め、必要に応じて是正又は停止を命ずることができる。
- ⑤ 病院長の選任及び任期については、「東海大学医学部附属4病院における病院長及び副院長の選任規程」の定めるところによる。

- ・ 管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割

副院長（担当業務：診療・渉外）
副院長（担当業務：診療協力）
副院長（担当業務：中央診療）
副院長（担当業務：医療安全）
副院長（担当業務：情報システム）
副院長（担当業務：看護）
病院事務部長（担当業務：事務全般）

- ・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況

附属病院群執行部研修会

〔開催時期〕 毎年5月

〔研修内容〕 本院及び医学部附属東京病院、同大磯病院、同八王子病院の各病院長から前年度決算の分析と評価、当年度事業計画に沿った取組み（医療収入獲得の取組み・徹底した経費削減対策）、医療安全対策について説明を行う。

規則第15条の4第1項第2号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する
状況

監査委員会の設置状況					(有)・無
<p>・ 監査委員会の開催状況：年 2 回</p> <p>・ 活動の主な内容：</p> <p>医療安全管理業務（以下の(1)～(6)）の実施状況について管理者から報告等を求め、その適切性を判断する。また、必要に応じて、是正措置を講じるよう、理事長及び管理者に対し、書面により意見を表明する。</p> <p>(1) 医療安全管理責任者の業務 (2) 医療安全管理部門の業務 (3) 医療安全管理委員会の業務 (4) 医薬品安全管理責任者の業務 (5) 医療機器安全管理責任者の業務 (6) その他医療安全管理業務に係る事項</p> <p>・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無 ((有)・無)</p> <p>・ 委員名簿の公表の有無 ((有)・無)</p> <p>・ 委員の選定理由の公表の有無 ((有)・無)</p> <p>・ 監査委員会に係る内部規程の公表の有無 (有・(無))</p> <p>・ 公表の方法：</p> <p>当院ホームページに委員名簿、委員の選定理由を掲載。 議事録は監査委員会終了後に掲載。</p>					
監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）					
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
三木 保	東京医科大学 病院長 東京医科大学 医療の質・安全 管理学分野主任 教授	○	特定機能病院の 管理者 特定機能病院医療 安全管理責任者 (経験者)	有・(無)	医療に係る安全 管理又は法律に 関する識見を有 する者その他の 学識経験を有す る者
大塚 達生	弁護士 (神奈川県弁護 士会)		患者さん側の立場 に立った弁護をさ れている者	有・(無)	医療に係る安全 管理又は法律に 関する識見を有 する者その他の 学識経験を有す る者

山口 育子	認定 NPO 法人さ さえあい医療人 権センターCOML 理事長		患者と医療者の協 働の実現により医 療現場により良い コミュニケーション を築く活動をさ れている者	有 <input checked="" type="radio"/> 無	医療を受ける者 その他の医療従 事者以外の者
小林 幹夫	伊勢原市 保健福祉部長		行政としての立場 及び一般の立場の 代表者	有 <input checked="" type="radio"/> 無	医療を受ける者 その他の医療従 事者以外の者
安田 聖栄	医療法人社団 あんしん会四谷 メディカルキューブ理 事長(元東海大 学医学部教授, 前東海大学医学 部付属病院副院 長)		前東海大学医学部 付属病院の医療安 全統括者	<input checked="" type="radio"/> 有・無	医療に係る安全 管理又は法律に 関する識見を有 する者その他の 学識経験を有す る者
千野 修	東海大学医学部 付属東京病院 副院長・医療安 全対策室長		付属病院群の医療 安全に係る責任者 の代表者	<input checked="" type="radio"/> 有・無	医療に係る安全 管理又は法律に 関する識見を有 する者その他の 学識経験を有す る者

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者 (1.に掲げる者を除く。)
3. その他

規則第15条の4第1項第3号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを
確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

・体制の整備状況及び活動内容

病院長が議長となり、病院の各種事業について審議・報告する「病院運営会議」に、
各種の職種を出席させており、相互牽制する体制を敷いている。

・専門部署の設置の有無（有・無）

病院を含む法人全体を担当する、以下の部署を設置している。

業務の監督体制：監査室
コンプライアンスに係る体制：総務部総務法務課

病院内で担当する部署としては、伊勢原事務部伊勢原総務課が担当する。
（上記の「病院運営会議」の運営を含む）

・内部規程の整備の有無（有・無）

・内部規程の公表の有無（有・無）

・公表の方法

規則第15条の4第1項第3号口に掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況 病院外を含む法人全体の監督をする会議体として、定例理事会が開催されている。理事には外部有識者を含み、メンバーは学校法人東海大学のホームページでも公開している。 ・ 会議体の実施状況（年5回） ・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（<input checked="" type="radio"/>有・無）（年5回） 病院長は参画していないが、伊勢原校舎・付属病院本部長(前病院長)が常務理事として毎回参画している。 上記は当該理事の参画状況。 ・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（有・<input checked="" type="radio"/>無） ・ 公表の方法 			
病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：			
会議体の委員名簿			
氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係
			有・無
			有・無
			有・無
			有・無

(注) 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第15条の4第1項第4号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況
<ul style="list-style-type: none">・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無)・ 通報件数 (年 3 件)・ 窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無)・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無)・ 周知の方法<ul style="list-style-type: none">・ 病院情報端末の医療安全アイコン内に「内部通報」を掲載・ 医療安全対策マニュアル／医療安全基本マニュアルに医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付ける窓口及び使用方法について掲載

(様式第7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	有・無
・評価を行った機関名、評価を受けた時期 公益社団法人 日本医療機能評価機構 主たる機能：一般病院2 機能種別版評価項目3rdG: Ver. 1.0 認定期間：2014年11月22日～2019年11月21日（認定3回目）	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	有・無
・情報発信の方法、内容等の概要 ホームページにて、病院の概要、理念・方針、取り組み、診療機能、診療実績、医師の専門性、各種講座・講演会等の情報発信を行っている。 近隣医療機関向けとして、「診療案内」「のぞみ」等の冊子・チラシ、患者さん向けとして「医学小知識」を定期発行している。 院内の掲示板には「病院の理念」「基本方針」を明示している。	

3 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	有・無
・複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要 【チーム医療の体制について】 栄養サポートチーム・呼吸ケアチーム・緩和ケアチームなどのチームが定期的に回診を行い、診療科の枠を超え患者のケアにあたっている。	

(様式第 8)

伊総第 19-211 号
令和元年 10 月 2 日

厚生労働大臣 加藤 勝信 殿

学校法人 東海大
理事長 松前 義

医療に係る安全管理のための体制整備に関する計画について

標記について、次のとおり提出します。

記

1. 管理職員研修（医療に係る安全管理のための研修、管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者向け）を実施するための予定措置

令和元年度特定機能病院管理者研修

以下日程にて管理者研修に参加予定

令和 2 年 2 月 12 日

（管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者）

2. 医療安全管理部門の人員体制

・所属職員：専従（7）名、専任（3）名、兼任（6）名

うち医師：専従（0）名、専任（2）名、兼任（5）名

うち薬剤師：専従（2）名、専任（0）名、兼任（0）名

うち看護師：専従（2）名、専任（0）名、兼任（0）名

※医師の専従については、2018 年 4 月 1 日付で就業時間 5 割以上を当該業務に従事する者を 2 名配置

3. 医療安全管理部門の専従職員を配置するための予定措置

医師の専従については、2020 年 4 月 1 日に就業時間 8 割以上を当該業務に従事する者を 1 名配置